

第 2 期市総合戦略進捗管理シート

《令和 4 年度実績見込み》

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1 訴求力のある施策		ファクター I 子どもに最善を尽くす											
	施策	1 安心して子どもを産み、育てる環境づくり												
施策の方向性	妊娠期から子育て期まで、喜びを感じながら楽しんで子育てができるよう、切れ目のない支援の充実を図ります。寝屋川市で子どもを産み、育てたいと感じてもらえる環境づくりを進めます。													
施策の展開	① 子どもと母親の健康づくり ② ニーズに対応した教育・保育サービスの提供 ③ 一人ひとりの状況に応じた支援を受けることができる環境整備 ④ 子育て世代にうれしいサービスの充実 ⑤ 放課後児童の安全・安心な居場所の確保													
関連するSDGs目標	    													
指標名	担当課	指標の推移							【令和 4 年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策					
		R 1 【基準値】	R 2 【実績】	R 3 【実績】	R 4 【実績見込】	R 5	達成率【R 4】	コロナ 影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）		今後の対応・対策			
施策指標 【数値目標】	通年保育所等利用待機児童数	保育課	目標値	—	—	0人	0人		0人	100.0%		待機児童ZEROプランRとして、受入促進事業、保育士の処遇改善、保育士の宿泊借上げ支援等、多種の事業を総合的に実施することで、年間を通じた待機児童の解消を図り、目標値を達成できる見込みである。		就学前児童数や保育所等の入所児童数の推移を注視し、引き続き、各事業を継続して実施し、待機児童ZEROプランRを着実に推進することで、年間を通じた待機児童の解消を継続する。
			実績値	0人	0人	0人	0人							
出生数に係る想定数と実数との差	子育て支援課	目標値	—	—	想定出生数 1,312人	想定出生数 1,248人	想定出生数 1,187人	1060.0%		子育ての負担軽減や安心して出産できる環境整備を推進することで、目標値を達成できる見込みである。		引き続き、市民のニーズを的確に把握するとともに、より効果的な施策・事業を検討し、安心して出産・子育てができる環境を構築することで、目標値達成の継続を図る。		
		実績値	出生数 1,451人	出生数 1,478人	出生数 1,470人	出生数 1,460人	出生数							
★ 産後うつリスクが高い人の割合	子育て支援課	目標値	—	—	14.5%	14.0%	13.5%	117.1%		MY CITY 助産師による訪問指導等に加え、産後ケア事業（アウトリーチ型）、子育てリフレッシュカード配布事業の開始など、妊娠期から産後までの相談支援や各種母子保健サービス等が一層充実したことで、支援を必要とする妊産婦の負担軽減につなげることができ、目標値を達成できる見込みである。		引き続き、支援を必要とする妊産婦に対し、MY CITY 助産師の訪問指導等を実施するとともに、出産・子育て応援給付金事業、子育てリフレッシュカード配布事業及び産後ケア事業の利用者負担軽減など、保護者の負担感を軽減させるための取組を実施し、目標値達成の継続を図る。		
		実績値	14.5%	15.1%	12.8%	11.6%								
★ 「ねやがわ保育セミナー」に参加した保育施設の割合	保育課	目標値	—	—	83.0%	91.0%	100%	76.0%	●	新型コロナウイルス拡大に伴い、セミナーの開催方法の変更等で、保育施設等の参加数が減少したことから、目標値達成に至らない見込みである。		保育セミナーの開催方法等について、対面研修とオンライン研修の検討と実施していくことで、目標値の達成を目指す。		
		実績値	75.0%	中止	64.6%	69.2%								
保育所等発達巡回相談事業利用児数	子育て支援課	目標値	—	—	328人	331人	334人	100.0%		関係課や各保育所園等と情報連携を密に行い、効果的かつ効率的な施設巡回訪問を実施できたことで、目標を達成できる見込みである。		引き続き、関係機関相互の情報連携等を通じて、効果的かつ効率的な施設巡回訪問を実施し、目標値達成の継続を図る。		
		実績値	325人	347人	381人	331人								
★ With Books事業（HOPステージ）利用者数	子育て支援課	目標値	—	—	1,372人	1,308人	1,247人	126.1%		出生数等が当初の想定を大幅に上回るとともに、出生・転入した子どもの保護者全員に対し、個別に事業の案内を行うことで、絵本の配布が促進され、目標を達成できる見込みである。		引き続き、個別案内を継続実施するとともに、未申請の保護者に対する個別通知の送付、乳幼児健診会場及び地区担当保健師の家庭訪問時に勧奨を行うなど、目標値達成の継続を図る。		
		実績値	令和3年度から事業実施	—	1,696人	1,650人								
地域子育て支援拠点の利用者数	子育て支援課	目標値	—	—	148,368人	146,377人	141,464人	41.2%	●	新型コロナウイルスの影響により、地域子育て支援拠点を予約制にするなど、利用者を制限したことから実績値が大幅に減少したため、目標値達成に至らない見込みである。		支援が必要な利用者がより利用しやすくなるよう積極的に情報提供を行うなど、目標値の達成を目指す。		
		実績値	111,408人	40,332人	49,750人	60,324人								
放課後子供教室開催回数	青少年課	目標値	—	—	3,540回	3,590回	3,640回	72.6%	●	新型コロナウイルスの影響により、開催できない期間があったため、目標値を下回る見込みだが、留守家庭児童会との連携に取り組み、感染防止対策を徹底しながら、実施可能な活動の幅を広げて行うことで、開催回数は前年度から増える見込みである。		放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室及び留守家庭児童会を一体型で実施することで、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、実施可能な活動の幅を広げ、多様な体験、活動を行うことができる環境を整備し、目標値を目指す。		
		実績値	3,486回	2,570回	1,458回	2,605回								

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	不育症治療費助成	医療助成担当	【助成件数】 6件 【助成額】 679千円	【助成件数】 20件 【助成額】 3,500千円	継続	不育症に悩む夫婦に対し、不育症治療等に要した費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減し、必要とする支援を受けやすい環境を推進する。
	不妊治療費助成	医療助成担当	【助成件数】 295件 【助成額】 66,769千円	【助成件数】 250件 【助成額】 75,000千円	完了	国の制度改正に伴い、特定不妊治療が保険適用となり、令和4年3月で本助成制度は廃止され、また、令和5年3月31日付で経過措置期間についても終了となることから、事業としては完了する。
	子育て応援事業の推進	子育て支援課	【実施内容】 ・MY CITY 助産師による産前産後の訪問指導の拡充（最大2回→4回） ・市公式LINEを活用した相談予約の開始 【MY CITY 助産師の訪問指導件数（3～4回目）】 ・産婦597件、新生児等606件	【実施内容】 ・MY CITY 助産師による産前産後の訪問指導（最大4回） ・市公式LINEを活用した相談予約 ・妊婦健康診査の費用助成（最大14回→最大17回） 【MY CITY 助産師の訪問指導件数（3～4回目）】 ・産婦 619件、新生児等 637件	継続	引き続き、MY CITY 助産師の産前産後の訪問指導を実施し、産後うつ予防や育児不安の解消を図るとともに、あらゆる妊婦が安全に安心して出産することができるよう、妊婦健康診査の費用助成（最大17回）を実施する。
	多胎児家庭への支援	子育て支援課	【実施内容】 ・MY CITY 助産師による訪問指導(多胎児)の拡充（子育て応援事業による産前産後の訪問指導（最大4回）と合わせて最大7回） ・多胎児家庭へのタクシー乗車券交付（1家庭当たり年間2万円分） ・多胎児家庭交流会の開催 【MY CITY 助産師(多胎児)の訪問指導件数（5～7回目）】 ・産婦3件、新生児等6件 【タクシー乗車券申請件数】 ・63件 【多胎児家庭交流会の開催回数】 ・年3回	【実施内容】 ・MY CITY 助産師による多胎妊産婦への訪問指導（子育て応援事業による産前産後の訪問指導（最大4回）と合わせて最大7回） ・多胎児家庭へのタクシー乗車券交付（1家庭当たり年間2万円分） ・多胎児家庭交流会の開催 【MY CITY 助産師(多胎児)の訪問指導件数（5～7回目）】 ・産婦8件、新生児等16件 【タクシー乗車券申請件数】 ・65件 【多胎児家庭交流会の開催回数】 ・年3回	継続	引き続き、MY CITY 助産師の産前産後の訪問指導、外出支援としてのタクシー乗車券交付及び多胎児家庭交流会を実施し、多胎妊婦及び多胎児を持つ家庭の負担感の軽減や不安の解消を図るとともに、多胎妊婦のきめ細かな分娩管理等の産前サポートを充実するため、多胎妊婦を対象とした妊婦健康診査の費用助成を実施する。
	待機児童ZEROプランRの推進	保育課	【受入促進事業】 民間施設35施設 公立保育所6施設 【保育士の処遇改善】 延べ192人（36か所） 【保育士宿舍借り上げ支援】 26か所(入居保育士数55人) 【保育士広域募集】 ・10か所(対象広告掲載数17回) ・4か所(対象就職説明会参加数8回) 【ZEROプランRのPR】 ・懸垂幕設置等の啓発事業 ・保育士求人広告等掲載（10回） ・PRリーフレット作成（4,100部） ・ポスター作製（200枚） ・特設サイトの運営 ・インターネット広告の実施 【潜在保育士の就労支援】 7か所（就労保育士数11人） 【ねやがわ保育セミナー】 ・個別セミナー 全4回 ・全体セミナー 全1回	【受入促進事業】 民間施設34施設 公立保育所6施設 【保育士の処遇改善】 延べ158人（33か所） 【保育士宿舍借り上げ支援】 23か所(入居保育士数 46人) 【保育士広域募集】 ・10か所(対象広告掲載数17回) ・4か所(対象就職説明会参加数8回) 【ZEROプランRのPR】 ・懸垂幕設置等の啓発事業 ・保育士求人広告等掲載（11回） ・PRリーフレット作成（4,100部） ・ポスター作製（200枚） ・特設サイトの運営 ・インターネット広告の実施 【潜在保育士の就労支援】 7か所（就労保育士数11人） 【ねやがわ保育セミナー】 ・個別セミナー 全4回 ・全体セミナー 全1回	継続	引き続き、各事業を継続実施するなど待機児童ZEROプランRを着実に推進し、年間を通じた待機児童の解消を継続する。

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	保育コンシェルジュの配置による保護者への支援	保育課	【配置状況】 保育コンシェルジュ1人を保育課窓口配置 【支援内容】 保育を希望する保護者に対する保育施設や保育サービスの情報提供及び相談対応の充実を図った。	【配置状況】 保育コンシェルジュ1人を保育課窓口配置 【支援内容】 保育を希望する保護者に対する保育施設や保育サービスの情報提供及び相談対応の充実を図った。	継続	今後も継続して、保育コンシェルジュによる保育施設や保育サービスの情報提供及び相談対応の充実を図る。
	バイバイおむつ事業の実施	保育課	— (※令和4年度から掲載)	【事業の内容】 保育所等における使用済おむつの持ち帰りを不要とし、保育所等で処分 【対象施設】 市立保育所：6施設 民間保育所、民間認定こども園、民間事業所内保育施設（民間の認可保育施設）：42施設	継続	今後も、保育所等で使用済おむつの保護者持ち帰りをなくし、保育所等で処分することで、保護者及び保育士の負担の軽減並びに衛生面の向上を図る。
	子ども医療費助成	医療助成担当	【対象者数】 29,280人 【助成額】 808,981千円	【対象者数】 28,678人 【助成額】 871,574千円	継続	子育て世帯等に対し、医療費の一部を助成することにより経済的負担を軽減し、必要とする医療を受けやすい環境を推進する。
	就学前教育・保育の調査・研究事業の実施	子育て支援課	— (※令和4年度から掲載)	【実施内容】 ・子育て教育・総合支援本部会議の開催（計7回） ・監修者の招聘（学識経験者1人） ・アドバイザーの招聘（学識経験者1人） ・就学前教育・保育プログラムの作成	完了	就学前教育・保育プログラムを作成したことから、本事業は完了した。今後、本プログラムを活用していく中で、0歳から15歳までの切れ目のない子育て・教育環境の実現を図ることで、寝屋川教育の更なる推進につなげる。
	With Books事業（HOPステージ）の実施	子育て支援課	【実施内容】 本市で出生等した乳幼児に0歳から3歳のそれぞれの時期に合った絵本4冊を贈呈 【絵本の申請者数】 1,696人	【実施内容】 本市で出生等した乳幼児に0歳から3歳のそれぞれの時期に合った絵本4冊を贈呈 【絵本の申請者数】 1,650人	継続	引き続き、乳幼児への絵本4冊の贈呈を継続し、親と子の読み聞かせを通じて、「寝屋川教育」につなげていく。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1 訴求力のある施策	ファクター I 子どもに最善を尽くす										
施策	2 寝屋川市だから学べる「寝屋川教育」											
施策の方向性	本市独自の「寝屋川教育」の推進により、子どもたちの「考える力」や「寝屋川方式の学習法」の定着などによる学力、体力の着実な向上を図るとともに、社会で強く生き抜くための力を育みます。また、市民ニーズに寄り添った、寝屋川市だから学ぶことができる特色ある「寝屋川教育」を推進します。											
施策の展開	① 魅力あふれる「寝屋川教育」 ② “生き抜く力”の育成 ③ 学びを支える環境整備 ④ 教職員の働き方改革の推進											
関連するSDGs目標	   											
指標名	担当課		指標の推移					達成率【R4】		【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策		
			R1【基準値】	R2【実績】	R3【実績】	R4【実績見込】	R5	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標【数値目標】	全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比（小学校）	教育指導課	目標値	—	—	1.013	1.015	1.017	97.8%	●	目標値には至らなかったものの、国語科では、話し合い活動において、相手の良さを踏まえながら話を展開する力の伸びが見られ、算数では、基礎的な算数の概念の理解、求め方や理由を説明する力、グラフで示された情報を場面に即して適切に解釈する力の育成が図られている。	引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ディベート教育や道徳教育等を通じた「考える力」を育成、「ねやがわスタンダード」に基づいた基礎基本の徹底、タブレット端末を活用した「わかる」授業づくり等を推進し、目標値の達成を目指す。
			実績値	1.011	調査なし	1.043	0.993					
	全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比（中学校）	教育指導課	目標値	—	—	0.985	0.990	0.995	97.1%	●	目標値には至らなかったものの、前年度の実績値を上回った。国語科では、「話すこと・聞くこと」領域や、スピーチを行う際に、聞き手の興味・関心を引き付ける導入部分の工夫を行うこと等で優れており、数学では、「図形」領域の伸びやデータの傾向を捉え、数学的な表現を用いて説明する力の育成が図られている。	引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ディベート教育や道徳教育等を通じた「考える力」を育成、「ねやがわスタンダード」に基づいた基礎基本の徹底、タブレット端末を活用した「わかる」授業づくり等を推進し、目標値の達成を目指す。
			実績値	0.978	調査なし	0.955	0.961					
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比（小学5年生）	教育指導課	目標値	—	—	51.90	51.95	52.00	96.4%	●	目標値には至らなかったものの、指導力向上のための教員研修や小中連携した計画的な取組を行い、全国値を上回る結果となった。	引き続き、教員研修や小中学校連携した計画的な取組を進めるとともに、体力向上につながる運動の調査・研究や授業づくり、指導技術の研鑽に努め、子どもたちの体力向上に向けた取組を推進していく。	
		実績値	51.85	調査なし	部分調査	50.10						
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比（中学2年生）	教育指導課	目標値	—	—	53.00	53.05	53.10	95.2%	●	目標値には至らなかったものの、指導力向上のための教員研修や小中連携した計画的な取組を行い、全国値を上回る結果となった。	引き続き、教員研修や小中学校連携した計画的な取組を進めるとともに、体力向上につながる運動の調査・研究や授業づくり、指導技術の研鑽に努め、子どもたちの体力向上に向けた取組を推進していく。	
		実績値	52.95	調査なし	部分調査	50.50						
進捗管理指標【★：KPI】	★ 第四中学校区施設一体型小中一貫校工事進捗率	教育政策総務課	目標値	—	—	12.5%	62.5%	100.0%	81.8%	●	継続費の年割額の見直しを行ったことから、指標実績は目標値に至らない見込みであるものの、令和4年1月から建設工事に着手し、令和5年1月に体育館棟が完成するなど、工事スケジュール通りに進んでいる。（年割額見直し後の令和4年度達成率は概ね100%）	引き続き、事業を進め、令和5年12月末の建設工事完了に向けて取組を推進する。
			実績値	令和3年度から工事実施	—	1.7%	51.1%					
	★ 話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童・生徒の割合	教育指導課	目標値	—	—	67.7%	71.8%	75.9%	103.6%	●	子どもたちの論理的思考力や問題解決能力、情報選択能力等の育成を目指し、小学校低学年からのスピーチやペア活動のほか、小学4年生から中学3年生までディベート教育に取り組んだこと等により、目標値を達成することができた。	引き続き、ディベート教育や道徳教育などを通じて、コミュニケーション力、他人を思いやる心、豊かな人間性の醸成を図るとともに、論理的思考力や問題解決能力、情報選択能力等の育成を目指す。
			実績値	63.6%	調査なし	72.8%	74.4%					
★ 小中学校トイレ洋式化の整備率	施設給食課	目標値	—	—	41.9%	41.9%	50.9%	100.0%	●	寝屋川市学校園施設の長寿命化計画に基づき、今後の改修工事に向け、各学校のトイレの利用状況や設備の状況確認等に係る実施箇所の精査及び着工スケジュールの調整等準備を進めた。	トイレ洋式化等改修に係る設計業務委託の実施など、建築資材や備品等の価格高騰への影響を踏まえ、計画的に取組を進めていく。	
		実績値	41.9%	41.9%	41.9%	41.9%						
学校出退勤システムにおける教職員の1か月あたりの平均時間外勤務時間	学務課	目標値	—	—	31.4時間	28.7時間	26.0時間	94.1%	●	監察課によるいじめ対応、学校と保護者を繋ぐオンライン連絡網の導入、部活動拠点校化の拡充、夜間や休日に保護者からの連絡に対応するコールセンター体制の構築等、教職員の長時間勤務の改善に向けての新たな取組により、一定の効果は表れ始めている。しかし、引き続き、新型コロナウイルスの対応のため時間外勤務が発生しており、目標達成には至らないと予想される。	取組の効果は着実に表れてきており、今後もノークラブデーや定時退勤日等を推進するとともに、校務支援システムなどを活用し、業務面での負担軽減を図る。また、時間外勤務が多い教職員に対して、学校長及び市教育委員会が個別に面接し、相談や指導を引き続き実施することで、教職員の勤務実態把握及び健康維持に努める。教職員が子どもへの指導に専念できる環境を構築し、更なる働き方改革の推進を図る。	
		実績値	34.1時間	35.8時間	33.4時間	30.4時間						

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	小中一貫校の設置	教育政策総務課	【実施内容】 令和3年12月 小中一貫校建設工事事業者本契約締結 令和4年1月 小中一貫校建設工事の着手	【実施内容】 ・建設工事の実施、仮設運動場施設の管理 ・令和4年12月 備品購入（家具等）事業者と本契約締結 ・令和4年12月 校歌・校章等制作業務委託事業者と契約締結 ・令和5年2月 体育館棟の仮使用の開始	継続	引き続き、事業を進め、令和5年12月末の小中一貫校の建設工事完了に向けて、施設一体型小中一貫校の設置に向けた取組を推進する。
	寝屋川市部活動指導員の派遣	教育指導課	【実施内容】 柔道部への指導員派遣：部員21名（参加学校数4校） 剣道部への指導員派遣：部員10名（参加学校数5校）	【実施内容】 柔道部への指導員派遣：部員16名（参加学校数4校） 剣道部への指導員派遣：部員14名（参加学校数5校） 水泳部への指導員派遣：部員34名（参加学校数2校） ラグビー部への指導員派遣：部員44名（参加学校数4校） 陸上競技部への指導員派遣：部員9名（参加学校数2校） バドミントン部への指導員派遣：部員34名（参加学校数2校）	拡充	教職員の働き方改革と生徒のニーズに応じた部活動の推進を図るため、今年度実施の6種目の部活動に加え、新たに種目を拡充していく。
	寝屋川方式による教育の推進	総合教育研修センター	【実施内容】 ・ディベート教育等の指導講師の招へい ※ディベート実践校への派遣及び秋田県の小中学校への派遣については、新型コロナウイルスの影響により未実施	【実施内容】 ・ディベート教育等の指導講師の招へい 視察先：東京都立富士高等学校附属中学校 参加者：教育委員会事務局5名、校長3名、教頭3名、教員12名 ・秋田市視察 視察先：秋田市教育委員会・秋田市立小学校3校・中学校4校 参加者：教育委員会事務局6名、校長5名、教頭5名、教員36名	継続	引き続き、ディベート教育実践校等への教員派遣等を行い、そこで得られた知見を広く共有し、市内の子どもたちの実態を踏まえた研究に活用することで、寝屋川方式による教育の推進を図る。
	子どもを守る位置情報(GPS)サービスの運用	教育政策総務課	【実施内容】 ・令和3年度小学2年生 前年度より引き続きGPS端末を貸与（令和4年3月末で契約期間終了） ・令和3年度小学1年生 申込者に通信端末（GPS）を6月に配布 ・令和4年度小学1年生 令和4年6月に配布できるよう令和3年度中に契約を行った。 【対象児童数（令和3年5月1日時点）】小1 1,642人、小2 1,684人 【申込割合】（令和4年3月末時点）小1 60.2%、小2 60.5%	【実施内容】 ・小学1、2年生にGPS端末を貸与 【対象児童数（令和4年5月1日時点）】小1 1,654人、小2 1,647人 【申込割合（令和5年2月末時点）】（小1 60.3%、小2 62.4%）	継続	保護者アンケートの実施等により、ニーズを的確に把握し、今後の事業の在り方等を検討していく。
	学校園施設的环境整備	施設給食課	【実施内容】 ・プール改修（東小学校・第二中学校） ・屋内運動場屋根・床改修（南小学校・第十中学校） ・屋上防水改修工事（第五小学校） ・特別教室棟解体工事（第一中学校）	【実施内容】 ・プール改修（宇谷小学校） ・屋内運動場屋根・床改修（第五小学校・友呂岐中学校） ・外壁等改修工事（三井小学校、神田小学校、第一中学校、第九中学校） ・屋上防水改修工事（池田小学校） ・受水槽改修工事（石津小） ・樹木伐採及びフェンス撤去工事（田井小） ・ユニットトイレ取替工事（国松緑丘小）	継続	引き続き、寝屋川市学校園施設の長寿命化計画の実施計画及び実態に沿った各種改修工事を進めていく。
	学校給食の充実	施設給食課	【実施内容】 ・栄養管理システムの導入 ・拡大親子給食の導入に向けての工事設計業務委託の実施 【件数】 設計業務委託6件	【実施内容】 ・栄養管理システムの継続運用 ・拡大親子給食運用に向けての調理場増改築工事 【件数】 調理場増改築工事5件	継続	更に温かくおいしい給食を目指し、引き続き栄養管理システムを活用した給食献立の作成、及び給食調理場における各種工事を進めていく。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1	訴求力のある施策	ファクター I 子どもに最善を尽くす									
施策	3	子どもを全力で守り抜く										
施策の方向性	寝屋川方式の「教育的アプローチ」(学校・教育委員会)、「行政的アプローチ」(市長部局「監察課」)、「法的アプローチ」(外部機関)の3段階アプローチによるいじめ対策を着実に実施し、いじめをしない、させない、許さないといった意識の醸成を図ります。また、市、警察、関係機関、地域全体が連携し、迅速、的確な対応を行うことにより、虐待から子どもの命と尊厳を守るとともに、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境づくりなどを進めます。											
施策の展開	① 子どものいじめ対策の推進 ② 子どものセーフティネットの確保 ③ 地域全体で子どもを守る											
関連するSDGs目標	   											
	指標名	担当課	指標の推移					達成率[R4]		【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策		
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率	コロナ影響	分析(要因や寄与した取組の内容など)	今後の対応・対策	
施策指標 【数値目標】	いじめ事案への行政的アプローチによる平均対応日数	監察課	目標値	—	—	25日	23日	21日	100.0%	●	学校・教育委員会及び直接監察課に相談があった全てのいじめ事案に対し、監察課がいじめを認知した時点から迅速に調査・対応を行うことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、いじめを認知した時点から早期解決に向けた迅速な対応を行うことにより、目標値達成の継続を図る。
	実績値	29日	27日	22日	23日							
施策指標 【数値目標】	児童千人当たりの児童虐待通告件数	子どもを守る課	目標値	—	—	6.1件	6.3件	6.5件	176.2%	●	児童虐待防止対策として取り組んでいる相談及び通告先の周知を図る取組の中で、特に児童虐待防止推進月間である11月に広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施したことで目標値を達成できる見込みである。	引き続き、児童虐待防止対策の推進に取り組み、目標値達成の継続を図る。
	実績値	5.9件	7.0件	8.3件	11.1件							
進捗管理 指標 【★: KPI】	★ 行政的アプローチによるいじめの解決率	監察課	目標値	—	—	100%	100%	100%	100.0%	●	いじめに関する通報・相談を受け、初動段階で被害者・加害者等に介入し、いじめの被害を早期に抑え込み、いじめ行為の停止を図ったことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、いじめの解決に向け、被害者・加害者等に介入し、いじめの事実認定及び解決に向けた対策を適切に行うことにより、目標値達成の継続を図る。
	実績値	100%	100%	100%	100%							
	児童千人当たりの児童虐待相談件数	子どもを守る課	目標値	—	—	43.6件	44.8件	46.0件	138.8%	●	児童虐待防止対策として取り組んでいる相談及び通告先の周知を図る取組の中で、特に児童虐待防止推進月間である11月に広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施したことで目標値を達成できる見込みである。	引き続き、児童虐待防止対策の推進に取り組み、目標値達成の継続を図る。
実績値	41.5件	44.0件	48.1件	62.2件								
進捗管理 指標 【★: KPI】	★ 「子ども110番の家」協力件数	青少年課	目標値	—	—	3,353件	3,363件	3,373件	98.5%	●	市広報誌(8月号)や市ホームページを活用し、全世帯に向けて協力依頼を行ったものの、高齢化などを背景に協力件数を伸ばせず、目標値には至らない見込みである。	市ホームページや市広報誌掲載に加え、各種関係団体への協力依頼を通じて、安全・安心な地域づくりを促進し、目標値の達成を目指す。
			実績値	3,343件	3,319件	3,325件	3,311件					

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	子どものいじめ対策の推進	監察課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接、監察課にいじめに関する通報・相談があった事案（127件）に対する対応 ・認知したいじめ事案（183件）に対し調査・対応を行い、全件で1か月以内にいじめ行為を停止させ解決を図った。 ・毎月1回、市立小中学校の全児童・生徒を対象に「いじめ通報促進チラシ」を配布 ・年2回、市立小中学校の全児童・生徒の保護者を対象に、「いじめ防止啓発チラシ」を配布 ・「寝屋川市子どもたちをいじめから守るための条例」に基づく是正勧告1件 	<p>【実施内容（令和4年12月末現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接、監察課にいじめに関する通報・相談があった事案（109件）に対する対応 ・認知したいじめ事案（270件）に対し調査・対応を行い、全件で1か月以内にいじめ行為を停止させ解決を図った。 ・毎月1回、市立小中学校の全児童・生徒を対象に「いじめ通報促進チラシ」を配布 ・令和4年7月に、市立小中学校の全児童・生徒の保護者を対象に、「いじめ防止啓発チラシ」を配布 ・寝屋川市いじめ被害者支援事業補助金交付要綱に基づく弁護士費用等支援補助金及び転校費用等支援補助金の交付 各1件 	継続	引き続き、「攻めの情報収集」として、毎月、全児童・生徒に配布するいじめ通報促進チラシにより、いじめの早期発見及びいじめの抑止を図る。また、全てのいじめ事案において被害者・加害者等への介入及びいじめ行為の停止後における被害者の安全確認などを継続的に行うことや、必要に応じていじめ被害者支援事業補助金を交付することなどにより、いじめ事案へのアプローチの実効性の向上を図る。
	いじめ対策サミットの開催	監察課	— (※令和4年度から掲載)	<p>【実施内容】</p> <p>教育関係者や先進的な取組を進めている自治体の長、いじめの被害者家族など、様々な立場の視点からいじめ問題の解決に向けた意見交流等を実施</p> <p>〔開催日〕 令和4年12月3日（土）</p> <p>※人として当たり前生きる権利を考えるつどいと同時開催</p> <p>〔開催場所〕 市民会館</p> <p>〔参加者数〕 延べ953人（当日のオンライン視聴を含む）</p>	継続	引き続き、いじめの抑止と早期解決に向け、いじめ防止対策の更なる推進を図る。
	人として当たり前生きる権利を考えるつどいの開催〔再掲（施策10）〕	人権・男女共同参画課	— (※令和4年度から掲載)	<p>【実施内容】</p> <p>人権関係団体等による実行委員会が中心となって、様々な人権問題に対する講演会、映画上映会をはじめ、パネル展示、相談等を実施</p> <p>〔開催日〕 令和4年12月3日（土）</p> <p>※いじめ対策サミットと同時開催</p> <p>〔開催場所〕 市民会館</p> <p>〔参加者数〕 延べ840人</p>	継続	引き続き、未就学児から高齢者まで幅広い世代の市民が気楽に参加し、男女共同参画、子どもや高齢者への虐待など様々な人権問題について正しい理解と認識を深められるイベントとして開催し、人権尊重のまちづくりの推進を図る。
	学校安全体制の推進	青少年課	<p>【実施内容】</p> <p>従来の見守り活動に加え、新たな取組として寝屋川警察と本市教育委員会の合同で地域パトロールカーによる巡回活動を実施</p>	<p>【実施内容】</p> <p>前年度に引き続き、寝屋川警察と本市教育委員会の合同で地域パトロールカーによる巡回活動を実施</p>	継続	本市教育委員会と地域と寝屋川警察の三者が連携し、子どもの見守り活動を続け、子どもの安全を確保する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1	訴求力のある施策	ファクターⅡ 誰もが住みたくなるまちをつくる									
施策	4	ポテンシャルをフル活用した都市基盤整備										
施策の方向性	本市には京阪沿線、JR学研都市線沿線の2つの鉄道軸があります。駅周辺を中心として、それぞれの地域の強みを活かしたまちづくりを計画的に進めます。 京阪沿線については、幹線道路の拡幅や駅・線路の高架化を推進するとともに、老朽住宅の除却や空き家の利活用等を図るなど、まちのリノベーションを進めることで都市の成熟度、洗練度を更に高めます。 また、JR学研都市線沿線においては、第二京阪道路、寝屋川公園という広大かつ優良な府営公園や生駒山系の山並みが迫る緑豊かな環境などのポテンシャルを有効に活用し、新住民を誘引するための新たな都市ブランドの創出に取り組みます。											
施策の展開	① 2つの鉄道軸の相互成長による魅力的なまちづくり ② 安全で快適な住環境の保全 ③ 地籍の明確化による土地活用の促進 ④ 生活道路の環境改善 ⑤ まちの未来を切り拓く道路整備 ⑥ 生活に寄り添う交通環境の確保											
関連するSDGs目標												
施策指標	指標名	担当課	指標の推移					【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策				
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
【数値目標】	空き家流通に係る所有者等同意取得数の累計	住宅政策課	目標値	—	—	40件	65件	90件	61.5%	●	空き家所有者に対して活用等に係る同意依頼のリーフレットを送付しているが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から空き家所有者への接触ができなかったため目標値を下回る見込みである。	空き家が増加傾向であるため、リーフレット送付などの周知活動や空き家所有者との接触を積極的に行うとともに、「寝屋川空き家流通推進プラットフォーム」での不動産事業者、金融機関等との連携強化を図り、空き家の流通に向けた取組を進めていく。
	実績値	令和2年度から事業実施	9件	30件	40件							
【数値目標】	地籍調査の実施率	道路管理課	目標値	—	—	5.3%	5.7%	6.1%	89.5%		まちづくりのコンセプトを整理した上で、計画的に地籍調査を実施するため、令和4年度は新規地区での地籍調査を実施しないことから、目標値には至らない見込みである。	より一層の密集住宅地区の解消とまちづくりを推進するため、継続して地籍調査を実施し、目標値の達成を目指す。
	実績値	4.5%	4.8%	5.1%	5.1%							
進捗管理指標【★：KPI】	★ 寝屋川公園駅西側広場整備の進捗率	まちづくり推進課	目標値	—	—	36.4%	79.7%	100%	88.1%		事業区域の変更により、事業費の変更が生じ、目標値に至らない見込みであるものの、事業は計画通り実施しており、対象地区の整備を推進する。	引き続き、駅前の魅力あるまちづくりを進めるため、用地取得を行い、令和5年度末までに駅前西側広場整備の完了を目指す。
	実績値	0.4%	1.3%	44.7%	70.2%							
	★ 空き家市場流通件数の累計	住宅政策課	目標値	—	—	8件	13件	18件	100.0%		不動産関係団体により構成された「寝屋川空き家流通推進プラットフォーム」などの活用により、目標値を達成することができる見込みである。	今後も「寝屋川空き家流通推進プラットフォーム」などの活用による市場流通の阻害要因を解消し、新たな市場への流通を促進させる。
	実績値	令和2年度から事業実施	0件	8件	13件							
	★ 地籍調査の実施面積の累計	道路管理課	目標値	—	—	127.8ha	137.8ha	147.8ha	90.4%		まちづくりのコンセプトを整理した上で、計画的に地籍調査を実施するため、令和4年度は新規地区での地籍調査を実施しないことから、目標値には至らない見込みである。	より一層の密集住宅地区の解消とまちづくりを推進するため、継続して地籍調査を実施し、目標値の達成を目指す。
	実績値	109.3ha	117.8ha	124.6ha	124.6ha							
★ 街なみ環境整備事業（ふるさとリーサム地区）の進捗率	まちづくり推進課	目標値	—	—	36.8%	48.8%	82.7%	80.1%		令和3年度に整備路線の追加など街なみ環境整備事業の変更に伴い、事業の総量が増えたことにより、実績値は目標値に届かない見込みであるものの、事業は計画通り実施しており、対象地区の整備を推進する。	引き続き、計画に定められた事業を着実に実施し、災害に強い住環境整備を推進していく。	
実績値	14.4%	21.9%	28.0%	39.1%								
★ 都市計画道路対馬江大利線事業における道路整備進捗率	道路建設課	目標値	—	—	5.9%	35.3%	64.7%	29.2%		物件移転に時間を要したことにより、予定していた工事区間が整備できなかったため、実測値が目標値に届かない見込みである。	より効率的に道路整備を進めることができるよう、計画に定めた道路整備工事内容及び工事手順の見直しなどを行うことにより、今後の目標値の達成及び令和6年度工事完成に向けて事業を推進していく。	
実績値	—	—	3.8%	10.3%								
★ バス利用促進事業におけるバス利用券の使用枚数	交通政策課	目標値	—	—	159,000枚	192,000枚	227,000枚	255.1%		市広報誌への掲載及び自治会への回覧用チラシの配布など、積極的な周知を行ったことで、目標値を大きく上回って達成できる見込みである。	引き続き、本事業について周知を行い、シルバー世代等の外出促進及び公共交通の利用促進のため、目標値達成の継続を図る。	
実績値	令和3年度から事業実施	—	366,532枚	489,772枚								

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	2軸化事業の推進	2軸化事業本部	<p>【実施内容】</p> <p><寝屋二丁目・寝屋川公園地区></p> <p>令和3年7月 寝屋二丁目・寝屋川公園地区まちづくり協議会 設立</p> <p>令和3年8月 将来の土地利用に関する意向調査(地区内の土地所有者等)</p> <p>令和3年11月 寝屋川市長へまちづくり支援要請(会長・副会長)</p> <p>令和3年12月 第2回 まちづくり協議会 総会</p> <p>令和4年3月 第3回 まちづくり協議会 総会</p> <p><国松地区></p> <p>令和3年3月 第1回 国松地区まちづくり勉強会</p> <p>令和3年7月 第2回 国松地区まちづくり勉強会</p> <p>令和3年8月 土地所有者への個別ヒアリング</p> <p>令和3年10月 第3回 国松地区まちづくり勉強会</p> <p>令和4年3月 第4回 国松地区まちづくり勉強会</p> <p><都市再生整備計画(寝屋川市駅周辺地区)の検討></p> <p>関係課の会議の開催 3回</p> <p>まちなか再生推進会議設立・開催 全体会議：3回、部会：3回</p>	<p>【実施内容】</p> <p><寝屋二丁目・寝屋川公園地区></p> <p>令和4年5月 事業化検討パートナーの募集</p> <p>令和4年8月 事業化検討パートナーの募集審査会</p> <p>令和4年10月 まちづくり協議会 第4回総会</p> <p>事業化検討パートナー：清水建設(株) 関西支店を選定</p> <p>令和4年11月 事業化検討パートナーとの覚書締結</p> <p><国松地区></p> <p>令和4年4月 国松地区まちづくり協議会の設立</p> <p>令和4年4月 土地区画整理事業の一括業務代行に向けた事業協力者の募集</p> <p>令和4年5月 寝屋川市長へまちづくり支援要請(会長・副会長)</p> <p>令和4年8月 事業提案説明会及び事業提案審査の開催</p> <p>令和4年8月 まちづくり協議会 第2回総会</p> <p>事業協力者：(株)大本組 大阪支店を選定</p> <p>令和4年9月 国松土地区画整理準備組合の設立</p> <p>令和4年9月 事業協力者との事業協力協定書の締結</p> <p><都市再生整備計画(寝屋川市駅周辺地区)の検討></p> <p>まちなか再生推進会議の開催 全体会議：6回、部会：4回</p>	継続	引き続き、寝屋二丁目・寝屋川公園地区は、事業化に向けて土地区画整理準備組合の設立及び都市計画決定の手続きに関連する大阪府や関係機関協議を進めるとともに、国松地区は、土地区画整理組合の設立(事業認可)による事業化に向けた取組を推進する。また、都市再生整備計画(寝屋川市駅周辺地区)は、都市計画道路対馬江大利線の整備や市民サービスのターミナル化と整合を図る中で、効果的・効率的な整備時期や計画内容の検討を行う。
	ターミナル化の推進(再掲)	資産活用課 2軸化事業本部 中央図書館	<p>【実施内容】</p> <p>・令和3年8月 寝屋川市駅前に中央図書館を開設</p> <p>・令和3年10月 大阪電気通信大学駅前キャンパスの取得</p>	<p>【実施内容】</p> <p>・令和4年6月～12月(仮称) 駅前庁舎改修工事に係る設計業務</p>	継続	利用頻度が高く、利用者が多い市民サービスを集約するターミナル施設として活用するため、(仮称)駅前庁舎の開設に向けた準備を進め、市民サービスのターミナル化の推進を図る。
	都市計画マスタープランの改定(令和3年度に完了)	2軸化事業本部	<p>【実施内容】</p> <p><庁内委員会></p> <p>改定委員会(部長級)及び幹事会(課長級)において検討を行った。</p> <p>改定委員会の開催 2回(7月、10月)</p> <p>幹事会の開催 2回(7月、10月)</p> <p><都市計画審議会></p> <p>都市計画審議会において、以下のとおり報告等を行った。</p> <p>8月(報告)、11月(報告)、2月(審議)</p> <p><市民説明会></p> <p>令和3年12月14日開催 市民参加者6名</p> <p><大阪府協議></p> <p>大阪府に意見照会し、協議を行った。</p> <p><パブリック・コメント></p> <p>令和3年12月13日～令和4年1月18日の間において実施 意見3件</p> <p><公聴会></p> <p>令和4年1月14日開催 公述者1名</p>	—	完了	—
	寝屋川公園駅西側広場の整備	まちづくり推進課	<p>【実施内容】</p> <p>・詳細設計業務委託</p> <p>・物件移転補償調査業務委託</p> <p>・測量業務委託</p> <p>・用地購入3件・物件移転補償等8件</p>	<p>【実施内容】</p> <p>・測量業務委託</p> <p>・用地購入4件・物件移転補償6件</p> <p>・造成等工事</p>	継続	引き続き、駅前の魅力あるまちづくりを進めるため、用地取得を行い、令和5年度末までに駅前西側広場整備の完了を目指す。

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	府道枚方富田林泉佐野線拡幅事業の推進	まちづくり推進課	【実施内容】 ・交差点詳細設計業務委託 ・測量業務委託 ・道路用地購入2件・物件移転補償2件	【実施内容】 ・測量業務委託 ・道路用地購入1件・物件移転補償1件 ・交差点改良工事	完了	寝屋川公園駅前線から明和小学校北側までの用地買収及び大阪府による歩道整備については、令和4年度に完了する。今後、明和小学校前の歩道整備については、大阪府において用地購入、工事が進められる。
	京阪本線連続立体交差事業の推進	高架事業課	【実施内容】 用地購入、物件移転補償等 【用地買収進捗率】 95.4%	【実施内容】 用地購入、物件移転補償、道路占用物件の移設等 【用地買収進捗率】 98.6%	継続	引き続き用地取得を進めるとともに、鉄道高架化工事を実施し、事業の推進を図る。
	借上住宅事業の推進	まちづくり推進課	【実施内容】 ・借上住宅移転：7件 ・借上移転調査：年1回 ・借上移転に伴う相談：8件	【実施内容】 ・借上住宅移転：3件 ・借上移転調査：年1回 ・借上移転に伴う相談：3件	継続	借上住宅への移転により、入居者に安定した生活空間を供給するとともに老朽化した建物の除却を促進し、2軸化構想における新たな住宅開発エリアの創出に繋げる。
	空き家流通の推進	住宅政策課	【実施内容】 ・空き家所有者からの空き家情報提供に係る同意を取得 30件 ・新たな市場への流通に至った物件 8件（プラットフォーム：4件、その他：4件） ・専門団体からのアドバイスにより自主的な解決を行った物件 10件 ※残り12件は、阻害要因の解消に向け各種団体が対応中。	【実施内容】 ・空き家所有者からの空き家情報提供に係る同意を取得 40件 ・新たな市場への流通に至った物件 21件（プラットフォーム：13件、その他：8件） ・専門団体からのアドバイスにより自主的な解決を行った物件 4件 ※残り15件は、阻害要因の解消に向け各種団体が対応中。	継続	「寝屋川空き家流通推進プラットフォーム」での不動産事業者、金融機関等との連携強化により、市場流通の阻害要因を解消し、新たな市場への流通を促し、空き家の解消を促進させるとともにまちのリノベーションを図る。
	優良建築物等表彰の実施	住宅政策課	【応募数】 28件 【表彰数】 ・市長賞（最も優れた独創的なデザインを有した物件）1件 ・特別賞（市長賞に次ぐ特に優れた独創的なデザインを有した物件）1件 ・優秀賞（特別賞に次ぐ優れた独創的なデザインを有した物件）4件	【応募数】 7件 【表彰数】 ・市長賞（最も優れた独創的なデザインを有した物件）1件 ・特別賞（市長賞に次ぐ特に優れた独創的なデザインを有した物件）1件 ・優秀賞（特別賞に次ぐ優れた独創的なデザインを有した物件）3件	継続	応募数の実績を踏まえ、複数年の表彰とするなど検討を行い、受賞した物件を広く一般に情報発信することで、居住環境に対する市民意識を向上させるとともにまちのリノベーションを促進させる。
	地籍調査の推進	道路管理課	【実施地域】 ・打上新町外3町 ・桜木町外1町 【実施面積】 合計6.8ha	新規地区なし（昨年度実施地区の継続調査のみ実施）	継続	より一層の密集住宅地区の解消とまちづくりを推進するため、継続して地籍調査を実施していく。
	ふるさとリーサム地区のまちづくりの推進	まちづくり推進課	【実施内容】 ・明和北地区（第1地区）道路築造工事 L=98.82m 防災エリア整備工事 道路用地購入3件・物件補償3件 ・明和北地区（第2地区）外2町地内道路予備及び道路詳細設計業務委託 ・明和南地区（第1地区）道路予備設計業務委託	【実施内容】 ・明和北地区（第1地区）道路築造工事 L=42m ・明和北地区（第2地区）道路用地購入6件・物件補償6件 ・明和南地区（第1地区）道路詳細設計業務委託 道路用地購入2件・物件補償3件 ・小路北町地区（第1地区）道路詳細設計業務委託	継続	引き続き、街なみ環境整備方針に基づき事業を実施し、災害に強い住環境整備を推進していく。
	都市計画道路対馬江大利線の整備	道路建設課	【実施内容】 用地取得等、橋梁工事、道路工事 【用地買収進捗率】 92.9%	【実施内容】 用地取得等、橋梁工事、道路工事 【用地買収進捗率】 95.0%	継続	引き続き用地の取得等を実施するとともに、橋梁工事及び道路整備工事を実施し、事業進捗を図る。

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	乗合い事業の推進	交通政策課	【対象地区】 成田地区、仁和寺地区、河北地区 【対象者】 シルバー世代（70歳以上）、妊婦、障害者 など 【利用料金】 地区内 無料 地区外（指定場所に限る） 有料（1人300円） 【利用実績】 成田地区 6,048人、仁和寺地区 4,651人、河北地区 922人	【対象地区】 成田地区、仁和寺地区、河北地区 【対象者】 シルバー世代（70歳以上）、妊婦、障害者 など 【利用料金】 地区内 無料 地区外（指定場所に限る） 有料（1人300円） 【利用実績】 成田地区 8,384人、仁和寺地区 4,544人、河北地区 1,069人	継続	事業実施中の3地区の地域の方々を対象に、本事業に関する状況や課題等の調査を行い、現行の事業スキームの在り方などの整理後、他の公共交通空白地域への拡充を検討する。
	バス利用の促進	交通政策課	【対象地域】 市内全域（本市域内のバス停留所から乗車又は降車する場合に限る。） 【対象者】 シルバー世代（70歳以上）、妊婦、障害者 など 【利用実績】 シルバー世代・妊婦 322,777枚、障害者 43,755枚	【対象地域】 市内全域（本市域内のバス停留所から乗車又は降車する場合に限る。） 【対象者】 シルバー世代（70歳以上）、妊婦、障害者 など 【利用実績】 シルバー世代・妊婦 425,977枚、障害者 63,795枚	継続	引き続き、本事業について周知を行い、シルバー世代等の外出促進及び公共交通の利用促進を図る。
	地域公共交通の利便性の向上	交通政策課	【実施内容】 地域公共交通協議会の開催 【参加人数】 68人 【開催回数】 年3回（10月、12月（書面開催）、2月（書面開催））	【実施内容】 地域公共交通協議会の開催 【参加人数】 68人 【開催回数】 年3回（10月、12月（書面開催）、3月）	継続	引き続き、公共交通の利用促進に向けた取組を実施し、交通サービスの維持と更なる利便性の向上を図る。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1 訴求力のある施策	ファクターⅡ 誰もが住みたくなるまちをつくる										
施策	5 将来を見据えた公共施設の集約・複合化											
施策の方向性	公共施設の老朽化の進行や超高齢社会の到来に加え、ICTを活用したオンラインサービスなど行政サービスの高度化が進むことを考慮し、現行の市役所機能が分散した公共施設配置の見直しを進め、駅周辺への市民サービスのターミナル化を図るなど、将来を見据えた公共施設の集約・複合化を推進します。											
施策の展開	① 公共施設の最適配置の実現 ② 計画的な施設管理の推進 ③ 持てる資産の有効活用											
関連するSDGs目標	  											
指標名	担当課	指標の推移							達成率【R4】		【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策	
		R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	公共施設の延床面積削減率 (供用開始・用途廃止時点)	資産活用課	目標値	—	—	2.4%	2.4%	3.0%	191.7%	●	こどもセンターの用途廃止により、公共施設の延床面積の削減が着実に進んだことから、目標値を達成できる見込みである。	今後も引き続き、各公共施設の立地場所及び機能・用途を検証し、市民ニーズや施設の利用状況等を考慮した上で、集約化・複合化も含め公共施設全体の総量抑制・最適配置を図る。
			実績値	—	0.3%	4.4%	4.6%					
施策指標 【数値目標】	未利用資産（用地）の利活用率	資産活用課	目標値	—	—	10.0%	20.0%	30.0%	181.0%	●	旧ふじのき公園の防災備蓄センターとしての活用及び旧たんぼぼ保育所跡地の明和小学校のグラウンドとしての活用等並びに一部未利用資産（用地）の売却が利活用率の上昇に寄与したことから、目標値を達成できる見込みである。	今後も引き続き、未利用資産（用地）の売却、貸付等の利活用を推進する。
			実績値	—	32.4%	35.0%	36.2%					
進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 駅前への公共施設集約面積の累計	資産活用課	目標値	—	—	10,265㎡	10,265㎡	17,166㎡	108.2%	●	前年度から新たな数値の変動はなかったものの、前年度に引き続き、目標値を達成できる見込みである。	市民の利便性の向上を最優先とした「公共施設・機能・サービス」の再配置、集約化を図り、市民サービスの提供を公共交通機関の結節点である駅周辺に集約する市民サービスのターミナル化をより一層進める。
			実績値	8,081㎡	8,081㎡	11,111㎡	11,111㎡					
	有形固定資産減価償却率の想定と実数の差（累計）	資産活用課	目標値	—	—	△4.5ポイント	△6.0ポイント	△7.5ポイント	81.5%	●	建物や設備等の改修工事等の実施により、有形固定資産減価償却率の上昇を一定程度抑制しているが、目標値には至らない見込みである。	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の集約化・複合化の観点で、新たな公共施設を建設・取得及び不要となる公共施設の廃止を進めるとともに、計画的に施設の長寿命化を進め、適切な資産管理を行う。
実績値			△0.71ポイント	△1.74ポイント	△3.94ポイント	△4.89ポイント						
未利用資産の売却率	資産活用課	目標値	—	—	6.0%	9.0%	12.0%	91.1%	●	赤井堤防敷等の一部売却が進んだことにより売却率が上昇したものの、目標値には至らない見込みである。	今後も引き続き、将来において活用が見込みがない未利用資産について、積極的な売却手続を進める。	
		実績値	—	2.6%	6.4%	8.2%						
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】				取組実績【令和4年度見込み】				進捗を踏まえた今後の方向性	
			【実施内容】		【実施内容】		区分	説明				
	公共施設等の総合的な管理の推進	資産活用課	<ul style="list-style-type: none"> 「公共施設等総合管理計画」の改訂に向けた取組の推進 「（仮称）公共施設長寿命化計画」の策定に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共施設等総合管理計画」の改訂に向けた取組の推進 「（仮称）公共施設長寿命化計画」の策定に向けた取組の推進 	継続	今後、公共施設等総合管理計画を改訂するとともに、（仮称）公共施設長寿命化計画を策定し、施設の適正な管理、長寿命化等を推進する。						
ターミナル化の推進	資産活用課 2軸化事業 本部 中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月 寝屋川市駅前に中央図書館を開設 令和3年10月 大阪電気通信大学駅前キャンパスの取得 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年6月～12月（仮称）駅前庁舎改修工事に係る設計業務 	継続	利用頻度が高く、利用者が多い市民サービスを集約するターミナル施設として活用するため、（仮称）駅前庁舎の開設に向けた準備を進め、市民サービスのターミナル化の推進を図る。							

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1	訴求力のある施策	ファクターⅡ 誰もが住みたくなるまちをつくる									
施策	6	働く場の創出と多様な人材の育成・確保										
施策の方向性	地域産業の創出、育成支援を推進し、地域経済の活性化が図られることにより、雇用の創出と機会の増加を図り、定住人口の増加に資する雇用の受け皿を確保します。 女性、若者、シルバー世代等の雇用機会の拡大と人材育成を推進します。											
施策の展開	① 商業・工業・農業の振興 ② 魅力ある職住近接環境の創造 ③ やりたい仕事が見つかる就労支援											
関連するSDGs目標	     											
指標名	担当課	指標の推移							【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
		R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	市内小売店舗の合計売場面積	産業振興室	目標値	—	—	215,734㎡	215,978㎡	216,222㎡	104.1%		大型スーパーやドラッグストア等の出店が、市内小売店舗の合計面積の増加に寄与したため、目標値を達成できる見込みである。	市内事業者に対する支援や地域経済対策等を通じて、事業者が経営を継続できる環境の整備等を図るとともに、新たな店舗の出店を促進する。
	法人の設立等件数	産業振興室	目標値	—	—	256件	258件	260件	97.7%	●	新型コロナウイルスや電気・ガス料金、物価の高騰等の影響により、法人設立等に対し、積極的でないことが推察され、目標値には至らない見込みである。	今後も引き続き、景気動向の変化等を踏まえ、市補助金や経営相談などの事業者への的確な支援を実施する。
進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 事業者からの経営相談を受け、国、府及び関係機関と連携し、市等の支援策につなげた件数	産業振興室	目標値	—	—	236件	176件	194件	342.0%		新型コロナウイルスの影響により、事業者からの経営相談や各種支援施策・補助金に関する問合せが増加したことから、目標値を上回る見込みである。	今後も引き続き、事業者からの経営相談に対し、国、府及び関係機関と連携し、各種支援策につなげていく。
	★ 市の支援制度を活用して創業・開業した年間事業者数	産業振興室	目標値	—	—	5件	16件	18件	43.8%	●	新型コロナウイルスの影響で創業者数は一気に落ち込んだ。徐々に回復傾向にあるものの目標値を下回る見込みである。	コロナ禍からの市内創業ニーズの高まりを踏まえるとともに、よりニーズに即した支援制度とするため、現行の補助制度の見直しを検討するとともに経営支援アドバイザーによる経営相談業務による支援を実施する。
	★ 市が実施する就労支援事業で就労に結びついた年間人数	産業振興室	目標値	—	—	24人	25人	26人	44.0%	●	長引く新型コロナウイルスの影響を背景として、就職面接会の参加企業、就労に関する相談件数が減少していることから目標値を下回る見込みである。	今後も引き続き、景気動向の変化等を踏まえ、ハローワーク等と連携し、市内企業の求人ニーズと市民の求職ニーズのマッチングを促進していく。
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	商業活性化総合支援	産業振興室	取組実績【令和3年度】					取組実績【令和4年度見込み】			進捗を踏まえた今後の方向性	
											区分	説明
			【補助件数】 ・市内商業を活性化する事業に対する補助（商店街におけるセール等ソフト事業補助） 4件 ・街の安全・安心に寄与する事業に対する補助（商店街における街路灯や防犯カメラ等ハード事業補助） 7件 ・空き店舗等を活用する事業に対する補助 2件					市内の事業者・商店街、及びその連合組織等が取り組む商業活性化事業や事業者の売上向上に寄与する事業、街の安全・安心に資する事業、商店街等の空き店舗を活用した事業に要する経費を補助。 【補助件数】 ・市内商業を活性化する事業に対する補助（商店街におけるセール等ソフト事業補助） 6件 ・街の安全・安心に寄与する事業に対する補助（商店街における街路灯や防犯カメラ等ハード事業補助） 7件 ・空き店舗等を活用する事業に対する補助 3件			継続	引き続き、市内の事業者・商店街、及びその連合組織等が取り組む商業活性化事業や事業者の売上向上に寄与する事業、街の安全・安心に資する事業等に対し、その費用の一部を補助し、市内商業の活性化を図る。
	ねやがわ桜ナイトパークの開催（令和3年度に完了）	産業振興室	新型コロナウイルスの影響により開催を中止した。					—			完了	—

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	ねやがわパーク事業の開催	産業振興室	— (※令和4年度から掲載)	秋と春の年2回、季節に応じたパークイベントを開催。 【実施内容】ねやがわパーク事業（場所：打上川治水緑地） ＜秋：月見とランタンの夕べ＞ ・開催日 令和4年11月4日（金）、5日（土）、6日（日） ・来場者数 延べ約2万5千人 ・市内飲食店等出店数 延べ26店舗 ＜春：桜と光の舞い＞ ・開催日 令和5年3月24日（金）、25日（土）、26日（日）	継続	引き続き、季節に応じたパークイベントを開催し、ライトアップ等の装飾内容や飲食エリアの更なる充実などにより、まちへの愛着の醸成及び地域経済の活性化を図る。
	中小企業経営・技術支援	産業振興室	【補助件数】 ・展示会等への出展事業 12件 ・国等補助金のサポート事業 4件 ・産学・企業間交流促進事業 2件	展示会の出展支援、国又は大阪府が実施する設備投資に対する補助金申請のサポート、事業効率化の研究や先進施設の視察に対する促進を実施。 【補助件数】 ・展示会等への出展事業 13件 ・国等補助金の申請サポート事業 3件 ・産学・企業間交流促進事業 2件	継続	引き続き、展示会等への出展事業、国等補助金の申請サポート事業、産学・企業間交流促進事業の事業支援を通じて中小企業の振興を図る。
	萱島地区事業者誘致	産業振興室	新型コロナウイルスの影響により事業実施を次年度に見送った。	【実施内容】 ＜萱島まち歩き＞ ・萱島地区のポテンシャルや街並みを把握するため、事業者誘致検討のアドバイザー等による萱島地区のまち歩きを実施。 ＜アドバイザーによる講義の実施＞ ・関係部署の職員等を対象に、アドバイザーが手掛けた事業の紹介や事業者誘致に参考となる事例等をテーマとした講義を実施。 ＜その他＞ ・専門学校学生による萱島地区フィールドワーク等の成果発表会への参加（アドバイザーの提案）。	継続	萱島地区における商店街等への事業者誘致に向けて、当該地区のポテンシャル、今後のまちづくりの方向性、アドバイザーの助言等を踏まえ、更なる検討を行う。
	創業に対する支援	産業振興室	創業に係る賃借料や外装工事・内装工事費用など補助対象事業に要する経費を補助。 【補助件数】 5件 【補助対象業種】 飲食店、エステ・化粧品販売 他	創業に係る賃借料や外装工事・内装工事費用など補助対象事業に要する経費を補助。 【補助件数】 7件 【補助対象業種】 不動産、飲食業 他	拡充	コロナ禍からの市内創業ニーズの高まりを踏まえるとともに、よりニーズに即した支援制度とするため、現行の補助制度の見直しを検討し、市内創業希望者に対する支援拡充を図る。
	子育て世代の仕事探しに対する支援	産業振興室	【実施内容】 子育て世代の仕事探し応援事業（場所：産業振興センター） ＜就職面接会＞ ・参加企業数 9月:10社、2月:13社 ・応募者数 9月:42人、2月:33人 ・就職者数 9月:17人、2月:10人 ＜セミナー＞ ・参加者数 9月:7人（内、オンライン参加者数4人） 2月:8人（内、オンライン参加者数7人） ＜相談会＞ ・相談実績 9月:1件、2月:1件 【実施内容】 出張マザーズコーナー（場所：子育てリフレッシュ館 RELATTO） ・相談日数 20日 ・相談実績 43件 ・就職者数 1人	【実施内容】 子育て世代の仕事探し応援事業（場所：産業振興センター） ＜就職面接会＞ ・参加企業数 9月:8社、2月:3社 ・応募者数 9月:17人、2月:12人 ・就職者数 9月:2人、2月:5人 ＜セミナー＞ ・参加者数 9月:9人、2月:9人 ＜相談コーナー＞ ・相談実績 9月:2件、2月:3件 【実施内容】 出張マザーズコーナー（場所：子育てリフレッシュ館 RELATTO） ・相談日数 24日 ・相談実績 35件 ・就職者数 1人	継続	引き続き、ハローワーク等と連携し、子育て世代のニーズを踏まえた就労支援セミナー、相談会、就職面接会をパッケージで実施し、子育て世代の就労を支援する。
	就労に対する支援	産業振興室	【実施内容】 働く意欲がありながら就労が困難な方の相談支援 ・相談日 火・金 ・場所 ねやがわシティ・ステーション ・相談実績 84件 ・就労者数 5人	【実施内容】 働く意欲がありながら就労が困難な方の相談支援 ・相談日 火・金 ・場所 ねやがわシティ・ステーション ・相談実績 65件 ・就労者数 3人	継続	引き続き、地域就労支援センターにおいて、隣接するハローワーク枚方職業紹介コーナーと連携し、就職困難者への助言等を行い、就労を支援する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1	訴求力のある施策	ファクターⅢ 命を全力で守り、豊かなくらしを実現する									
施策	7	災害から命を守るための対策										
施策の方向性	災害時にも被害を最小限に抑えるため、地域防災力の向上を図るとともに、道路・橋・上下水道などの整備、強靱化や建築物の耐震化など災害に強いまちづくりを進めます。また、避難所における良好な生活環境を確保し、市民の命を守るための対策を推進します。											
施策の展開	① 危機管理体制の充実 ② 地域防災力の強化 ③ 密集住宅地区の解消 ④ 建築物の安全性の確保 ⑤ 命の源“水”の確保 ⑥ 浸水に強いまちづくりの推進											
関連するSDGs目標	  											
指標名	担当課	指標の推移							【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
		R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ 影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	住宅の耐震化率	住宅政策課	目標値	—	—	86.5%	88.5%	91.5%	98.4%	●	新型コロナウイルスの影響を含め、社会経済情勢の変化があったことから、住宅の耐震化率を上昇させる要因である新築や建替え、耐震改修、除却等の件数が想定を下回ったと考えられ、目標値には至らない見込みである。	住宅の所有者に耐震化の重要性を十分に認識してもらうため、より一層、相談会等の啓発活動の充実を図っていく。また、耐震診断を行ってからの一定期間耐震改修を行っていない方に対して、再度耐震改修を促す働きかけを行っていく。
			実績値	82.1%	86.1%	86.4%	87.1%					
	水道管路の耐震化率	水道事業課	目標値	—	—	11.4%	12.1%	12.8%	102.5%		第10期施設等整備事業計画に基づき、水道管路の更新及び耐震化を進めたことで、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、第10期施設等整備事業計画に基づき、水道管路の更新及び耐震化の継続・推進に努め、安全な水の供給と、強靱な水道管路網の構築を目指し、目標値達成の継続を図る。
			実績値	9.9%	10.8%	11.8%	12.4%					
進捗管理 指標 【★：KPI】	災害応援協定数（累計）	防災課	目標値	—	—	97件	102件	107件	97.1%		着実に協定数の増加を図ったものの、各種企業との協定締結の調整に日数を要するため、目標値には至らない見込みである。	引き続き、災害時における問題解決を図るため、早期の協定締結に向け、各種企業等と協議を進めていくことで、目標値の達成を目指す。
			実績値	88件	90件	94件	99件					
	★ 消防団員の資質向上のための訓練等への参加率	防災課	目標値	—	—	94.1%	96.1%	98.1%	78.9%	●	新型コロナウイルス感染防止の取組として、各種訓練の一部中止や人数制限を設けて実施したため、目標値の達成には至らない見込みである。	引き続き団員の資質向上に向け各種訓練を実施していく。また、コロナ禍において減少した参加者について、改めて周知を行い、参加を促していく。
			実績値	92.1%	41.2%	72.3%	75.8%					
	★ 主要生活道路整備率	住宅政策課	目標値	—	—	60.2%	61.2%	62.2%	106.0%		密集住宅地区全域のまちの不燃化を進めるため防災街区整備地区計画の指定を行い、まちづくり協議会や市広報誌での補助制度の啓発を進めるとともに、主要生活道路地権者への個別交渉の実施などあらゆる取組を実施したことにより、目標値を達成した。	引き続き、都市計画道路対馬江大利線を含む道路整備や老朽建築物等除却補助を実施し、密集住宅地区の安全性の向上を進めることで、他市からの住み替えの促進を図る。
			実績値	58.2%	60.5%	62.1%	64.9%					
	★ 耐震診断件数	住宅政策課	目標値	—	—	55件	57件	59件	61.4%	●	耐震不足木造住宅除却補助制度の新設と空き家除却補助制度の拡充により、耐震診断の対象となる旧耐震の建築物が除却されたことや新型コロナウイルスの影響により、診断件数が伸びず、目標値には至らない見込みである。	耐震化の重要性をより一層認識していただけるよう、大阪府と連携して作成中である啓発動画をHPや相談会でも活用していく。また、チラシの回覧やHP、広報等の啓発活動を行うとともに、相談会等の直接的な働きかけの強化を図っていく。
			実績値	53件	35件	54件	35件					
	★ 重要給水施設管路の耐震化率	水道事業課	目標値	—	—	37.3%	37.9%	40.5%	102.4%		第10期施設等整備事業計画の位置付けでもある、重要給水施設への配水管路の更新及び耐震化を進めたことで、目標値を達成できる見込みである。	災害医療協力病院等、重要給水施設への配水管路の更新及び耐震化の継続・推進に努め、安全な水の供給と、強靱な水道管路網の構築を目指し、目標値達成に向けた取組を進める。
			実績値	35.5%	36.2%	38.1%	38.8%					
★ 寝屋川流域水害対策計画における貯留施設設置率	下水道事業室	目標値	—	—	86.4%	88.4%	90.4%	96.7%		市の事業として初本町公園雨水貯留浸透施設設置工事を実施したが、貯留量については、民間開発による設置が少なかったことから、目標値には至らない見込みである。	寝屋川流域水害対策計画に基づき、市の雨水対策事業を実施していく中で貯留施設の設置を検討していくとともに、民間開発における適正な開発指導を行い、目標値の達成を目指す。	
		実績値	82.4%	83.8%	84.4%	85.5%						

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	避難所開設・運営訓練等の実施	防災課	【実施内容】 ・令和3年度 各地域協働協議会における訓練参加者数 約250人 ※令和2年度以降は新型コロナウイルス拡大防止のため、多数の訓練が中止となっている（令和2年度参加者数50人）。	【実施内容】 ・令和4年度 各地域協働協議会における訓練参加者数 約980人	継続	引き続き、地域協働協議会と連携し自主防災訓練等を実施する。また、避難所の迅速な開設、円滑な運営ができるよう、避難所運営マニュアルを適宜更新していく。
	救助用資機材の配備・運用	防災課	【実施内容】 ・全中学校に救助用資機材（電動チェーンソー、電動チップソー等）を4セット配備 ※令和2年度は全小学校に救助用資機材2セットを配備済 ・救助用資機材を用いた地域での訓練を実施	【実施内容】 ・全小学校に救助用資機材（電動チェーンソー、電動チップソー等）を2セット配備（令和2年度と合わせ計4セット配備） ・救助用資機材を用いた地域での訓練を実施	継続	今後は、救助用資機材の適正な維持・管理を行う。また、地域協働協議会と連携し、定期的に訓練等を実施していく。
	AEDの運用	防災課	【実施内容】 公共施設 61か所に配備 コンビニエンスストア 67か所に配備	【実施内容】 公共施設 60か所に配備 コンビニエンスストア 67か所に配備	継続	引き続き、維持・管理を実施するとともに、新たな公共施設やコンビニエンスストアに随時配備を図る。
	密集住宅地区の整備	住宅政策課	【実施内容】 ・道路用地の買収 5件 ・道路整備工事 3件	【実施内容】 ・道路用地の買収 9件 ・道路整備工事 7件 ・老朽建築物等除却補助 43件	継続	まちの不燃化や避難に必要な機能の確保など、災害から命を守る対策を促進するため、密集地区内の建物の建て替え時の不燃化や老朽建築物等の除却と合わせ、主要生活道路の道路拡幅を行い、災害に強い市街地の形成と住環境の改善をより一層促進させる。
	建築物等の耐震化の推進	住宅政策課	【実施内容】 個別訪問や、DM、チラシの掲示等の啓発活動を実施 【補助件数】 ・耐震診断補助 54件 ・耐震改修補助 11件 ・ブロック塀等除却補助 33件	【実施内容】 個別訪問や、DM、チラシの掲示等の啓発活動を実施 【補助件数】 ・耐震診断補助 35件 ・耐震改修補助 11件 ・耐震不足除却補助 10件 ・ブロック塀等除却補助 32件	継続	チラシの回覧やHP、広報等の啓発活動を行うとともに、より一層、所有者に対して耐震診断、改修実施の働きかけを促進していく。
	水道管路の耐震化の推進	水道事業課	【実施内容】 更新及び耐震化工事延長 L=4,457.0m <内訳> ・重要給水施設への配水管路の耐震化 L=347.0m ・基幹管路の耐震化 L=128.2m ・安定給水の確保のための配水管路の耐震化 L=3,981.8m	【実施内容】 更新及び耐震化工事延長 L=4,005.4m <内訳> ・重要給水施設への配水管路の耐震化 L=295.0m ・基幹管路の耐震化 L=210.4m ・安定給水確保のための配水管路の耐震化 L=3,500.0m	継続	引き続き、第10期施設等整備事業計画に基づく、水道管路の更新及び耐震化を進めることにより、安全な水の供給と、強靱な水道管路網の構築を目指す。
	雨水貯留施設の整備	下水道事業室	【実施内容】 ・池田1号公園雨水貯留浸透施設設置工事 ・初本町公園雨水貯留浸透施設実施設計業務委託	【実施内容】 ・初本町公園雨水貯留浸透施設設置工事	継続	古川雨水幹線整備事業の効果等を検証しながら整備を進める。
	古川雨水幹線の整備	下水道事業室	【実施内容】 ・古川雨水幹線バイパス管工事着工（準備工）	【実施内容】 ・古川雨水幹線バイパス管工事着工（発進立坑工事）	継続	令和3年度から古川雨水幹線整備事業として、古川雨水幹線バイパス管工事に着手し、令和7年度完成、運用に向けて整備を進める。
	高宮ポンプ場の整備・運営	下水道事業室	【実施内容】 ・高宮ポンプ場整備工事（土木建築）完成 ・高宮ポンプ場整備工事（機械電気）実施	【実施内容】 ・高宮ポンプ場整備工事（機械電気）完成 ・高宮ポンプ場整備工事（場内整備工事）完成	継続	令和4年度に高宮ポンプ場整備工事が完成し、運営を開始した。今後は、工事施工ヤードの施設整備工事を行うとともに、高宮ポンプ場の適切な運営を行う。
	Sigfoxを活用した水位監視システムの導入	下水道事業室	【実施内容】 ・Sigfoxを活用した水位計の試行設置（1か所） ・Webアプリによる監視の実施	【実施内容】 ・Sigfoxを活用した水位計の設置（8か所） ・Webアプリによる監視の充実	継続	水位情報を把握するための管理者向けの簡易システムとして導入済みであり、今後は、適切な維持管理を行う。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1 訴求力のある施策	ファクターⅢ 命を全力で守り、豊かなくらしを実現する										
施策	8 防犯力向上による体感治安の改善											
施策の方向性	犯罪の発生を未然に防ぐため、市民、警察を始めとした関係団体等との連携を強化し、地域が一体となって犯罪のないまちづくりを進めるとともに、犯罪が減少していることの積極的な情報発信などを通じ、市民の体感治安の改善を図ります。											
施策の展開	① 効果的な防犯施策を通じた体感治安の向上 ② 防犯活動の推進 ③ 消費生活を支え、守る											
関連するSDGs目標	  											
施策指標	指標名	担当課	指標の推移					【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策				
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
【数値目標】	市内の刑法犯罪認知件数	監察課	目標値	—	—	1,500件	1,400件	1,300件	95.8%		防犯カメラ2,000基の管理・運用や夜間防犯パトロールの実施など、各種防犯施策を推進し、犯罪抑止効果の向上を図るとともに、地域が行う自主防犯活動などにより、防犯意識が高まる一方、新型コロナウイルス関連の各種制限等の緩和による社会経済活動の活性化に伴い、犯罪が増加したことが推察され、目標値には至らない見込みである。	各種防犯施策等の推進とともに、専門家による犯罪抑止に関する調査・研究を通じ、関係課や地域等と連携を図り、効果的な施策を実施するとともに、社会情勢を踏まえた刑法犯の発生状況等を注視し、必要に応じた啓発に努めることにより、目標値達成に向け、改善を目指す。
			実績値	1,762件	1,466件	1,354件	1,459件					
【数値目標】	市内の特殊詐欺被害件数	監察課	目標値	—	—	37件	35件	33件	20.0%	●	新型コロナウイルス関連の公的支援を悪用したと思われる還付金詐欺や預貯金詐欺などの特殊詐欺が増えたことにより、被害件数が増加したため、目標値には至らない見込みである。	引き続き、警察及び市防犯協会との連携及び防犯教室や消費生活講座の開催により周知啓発を行うとともに、令和3年度から3か年計画で、寝屋川警察署又は消費生活センターへ特殊詐欺に関する相談があった満65歳以上の方がいる世帯に対し自動通話録音装置を貸与し特殊詐欺被害の防止につなげることにより、目標値達成に向け、改善を目指す。
			実績値	41件	36件	56件	63件					
【★：KPI】	★ 市内の刑法犯検挙率	監察課	目標値	—	—	30.0%	30.5%	31.0%	91.1%		市域に設置した2,000基の防犯カメラによる犯罪捜査への貢献等により、刑法犯の検挙につながり、前年度と比較して検挙件数の大きな増減がない一方で、検挙率算定の母数となる刑法犯認知件数が増加したことより、目標値には至らない見込みである。	引き続き、適切に防犯カメラを管理・運用し、犯罪捜査への貢献と防犯カメラの一元管理に向けた取組を推進するとともに、関係機関等との連携を強化し、更なる警察活動の充実に寄与することにより、目標値達成に向け、改善を目指す。
			実績値	29.3%	33.0%	30.8%	27.8%					
【★：KPI】	★ 自主防犯活動の参加者数	監察課	目標値	—	—	3,950人	3,990人	4,030人	80.4%	●	新型コロナウイルスの長期化による自主防犯活動への参加自粛等の要因から、参加者が減少し、目標値には至らない見込みである。	今後、市防犯協会の活動支援や防犯に関する啓発物品の配布等を推進し、市民の防犯意識の向上を図るとともに、適切な防犯活動を促進することにより、目標値達成に向け、改善を目指す。
			実績値	—	3,740人	3,680人	3,209人					
【★：KPI】	あっせんが必要となる相談件数に占めるあっせん解決率	消費生活センター	目標値	—	—	91.4%	92.2%	93.0%	97.6%		前年度同様あっせんに応じない悪質な業者もあり、目標値には至らない見込みである。	悪質な業者の手口や対応方法等を身につける研修等の参加により、相談員の交渉力を高めるとともに、悪質な業者の被害に遭わないための啓発を行うことで目標値の達成を目指す。
			実績値	89.8%	86.0%	90.3%	90.0%					

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	防犯カメラの運用による犯罪抑止の環境づくり	監察課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース期間が満了した防犯カメラのリース契約を更新。 ・自治会等設置の防犯カメラ46基を市に移管。 <p>【警察への映像提供件数】 702件（監察課所管分）</p>	<p>【実施内容（令和4年12月末現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース期間が満了した防犯カメラのリース契約を更新。 ・自治会等設置の防犯カメラ32基を市に移管。 <p>【警察への映像提供件数】 657件（監察課所管分）</p>	継続	引き続き、年次的に自治会設置の防犯カメラを市に移管するとともに、防犯カメラの一元管理に向けた取組を推進し、犯罪抑止につなげる。
	夜間防犯パトロールの実施	監察課	<p>【実施内容】</p> <p>令和3年7月21日から8月22日及び令和3年12月1日から令和4年1月6日までの期間、午後8時から午前1時まで青色防犯パトロール車両2台による市全域のパトロールを実施。</p> <p>【声かけ等件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声かけ（帰宅指導）10件 ・警察への通報 2件 	<p>【実施内容】</p> <p>令和4年7月21日から8月31日まで及び令和4年12月1日から令和5年1月6日までの期間、午後8時から午前1時まで青色防犯パトロール車両2台による市全域のパトロールを実施。</p> <p>【声かけ等件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声かけ（帰宅指導）70件 ・警察への通報 1件 	継続	引き続き、子どもを始め市民を犯罪から守るため、青色防犯パトロールを実施し、犯罪抑止につなげる。
	犯罪認知件数減少に向けた施策の立案	監察課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議の開催 6回 ・治安に対する満足度等に関する調査の実施及び調査結果の検証 	<p>【実施内容（令和4年12月末現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議の開催 5回 ・市域防犯カメラに関する実地調査の実施及び防犯カメラに係る有効性の検証 	継続	引き続き、専門家による調査・研究を通じ、効果的な防犯施策を実施し、犯罪抑止につなげる。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	1	訴求力のある施策	ファクターⅢ 命を全力で守り、豊かなくらしを実現する								
施策	9	健康寿命の延伸									
施策の方向性	市民の生涯にわたる健康づくりを支援するとともに、市民一人ひとりの健康意識の高揚、生活習慣の改善を図ることなどにより、生活習慣病の発症や重症化を予防するなど、健康寿命の延伸に向けた取組を進めます。										
施策の展開	① 健康づくりの推進 ② 生活習慣病の発症・重症化予防の推進 ③ 医療体制の充実										
関連するSDGs目標	  										
指標名	担当課		指標の推移					【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
健康寿命（男）	保健総務課	目標値	—	—	79.52年	79.97年	80.10年	—			●
		実績値	78.61年	79.61年	78.22年	(※)					
健康寿命（女）	保健総務課	目標値	—	—	83.54年	83.60年	83.73年	—	●	令和3年度実績において、新型コロナウイルス感染症による死亡数増加、平均寿命の短縮等の影響で、目標値達成に至らず、令和4年度においても、引き続き新型コロナウイルスによる影響が続いているため、目標値達成には至らない見込みである。 ※本指標の実績確定値の算出時期は、国からの統計データ等の公表後の10月以降となっており、現時点で算出されている令和3年度実績における分析を基に記入している。	引き続き、市民の健康づくりに向けた事業を継続し、健康寿命の延伸を図る。
		実績値	83.41年	83.72年	83.50年	(※)					
8020を達成している市民の割合	健康づくり推進課	目標値	—	—	5.5%	5.8%	6.1%	136.2%	●	8020表彰式が行われる「歯の健康展・市民の集い」は新型コロナウイルスの影響により令和2年、3年は中止となっていたが、令和4年度は3年ぶりの開催となった。歯科医師会に御協力いただき、8020検診対象者への周知を強化したことで、受診者が増加し、目標値を達成することができた。 ※令和4年度から、歯科医師会による8020検診の対象者が、従来の「80歳から5歳ごとの市民」から「80歳の市民」に変更となったことに伴い、実績値の算出方法も変更となっている。	今後も引き続き市広報誌等で8020検診及び「歯の健康展・市民の集い」を周知する中で8020の啓発を行い、目標値達成の継続を図る。
		実績値	4.9%	3.4%	4.7%	7.9%					
★ 5大がんの検診受診率（平均）	健康づくり推進課	目標値	—	—	4.73%	5.20%	5.67%	81.7%	●	個別検診取扱医療機関で5大がんの検診が受診できることが周知されたことで、前年度より受診率は増加する見込みであるものの、新型コロナウイルスの影響により、市民が検診の受診控えをしたことで、目標値には至らない見込みである。	今後、がん検診を継続受診していない人に対する受診勧奨、個別検診取扱医療機関におけるがん検診の周知・啓発、個別検診取扱医療機関の拡充等の取組を強化することにより、目標値の達成に向け、改善を図る。
		実績値	3.79%	4.23%	4.23%	4.25%					
★ 重症化予防事業対象者の保健指導実施率	健康づくり推進課	目標値	—	—	55.0%	60.0%	65.0%	100.0%	●	重症化予防事業の一部を外部委託し、地区担当保健師による未利用者やハイリスク者への支援を強化したことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、重症化予防事業の一部を外部委託し、市職員は未利用者やハイリスク者への支援を更に強化することにより、目標値達成の継続を図る。
		実績値	46.1%	42.6%	67.0%	60.0%					
★ 休日・夜間の救急医療（小児科）の実施率	保健総務課 健康づくり推進課	目標値	—	—	100%	100%	100%	100.0%	●	発熱者対応スペースを設けるなど、適切に新型コロナウイルス感染防止策を講じることで、保健福祉センター診療所における小児科診療を休診することなく実施でき、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、市医師会等関係機関と連携して初期救急医療を運営することにより、目標値達成の継続を図る。
		実績値	100%	100%	100%	100%					

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	受動喫煙対策の推進	保健総務課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙禁止区域における巡回啓発の実施 小学校4年生を対象としたコチニン値測定の実施 <p>【実績】</p> <p>小学校4年生のコチニン値測定件数 959件（実施率54.5%）</p>	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙禁止区域における巡回啓発の実施 小学校4年生を対象としたコチニン値測定の実施 寝屋川市喫煙スローガン「は・ち・か・づ・き」の策定 喫煙所の増設（寝屋川市駅東側、香里園駅東側） <p>【実績】</p> <p>小学校4年生のコチニン値測定件数 895件（実施率50.6%）</p>	拡充	引き続き、市広報誌等により条例の啓発に取り組むとともに、路上喫煙禁止区域内の啓発の実施時間等を拡充し、更なる受動喫煙防止を図る。
	各種がん検診の推進	健康づくり推進課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の年齢に達した人を対象に、がん検診を無料で受診できるクーポン券の配布や受診勧奨を実施 40代の女性で令和2年度に乳がん検診を未受診の人を対象に、受診勧奨や再勧奨を実施 乳がん検診の出張検診や休日検診を実施 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診無料クーポン券による受診勧奨 2,399人 特定の年齢に達した人への受診勧奨 17,762人 40代女性で令和2年度未受診の人への受診勧奨 14,214人 乳がん検診の出張検診受診者数 56人 乳がん検診の休日検診受診者数 171人 	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の年齢に達した人を対象に、がん検診を無料で受診できるクーポン券の配布や受診勧奨を実施 40代の女性で令和3年度に乳がん検診を未受診の人を対象に、受診勧奨や再勧奨を実施 乳がん検診の出張検診や休日検診を実施 5年前に市のがん検診を初めて受診し、以降受診していない人を対象に、受診勧奨を実施 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診無料クーポン券による受診勧奨 2,333人 特定の年齢に達した人への受診勧奨 17,330人 40代女性で令和3年度未受診の人への受診勧奨 13,848人 乳がん検診の出張検診受診者数 55人 乳がん検診の休日検診受診者数 163人 5年前に市のがん検診を初めて受診し、以降受診していない人への受診勧奨 1,890人 	継続	引き続き、がん検診の受診勧奨を実施するとともに、今後がん検診を継続受診していない人に対する受診勧奨、個別検診取扱医療機関におけるがん検診の周知・啓発、個別検診取扱医療機関の拡充等の取組を強化することにより、がん検診の受診率の向上を図る。
	生活習慣病の重症化予防	健康づくり推進課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者への案内書の送付や架電による利用勧奨 未利用者及びハイリスク者への地区担当保健師の訪問による利用勧奨 重症化予防事業対象者への個別指導 二次検査の実施及び個別面談による検査結果説明 薬剤師の講話の実施 生活習慣病重症化予防地域連携協定に基づく医師との事例検討会の開催 大阪大学との重症化予防事業の評価に係る共同研究 糖尿病性腎臓病重症化予防ネットワーク研修会の開催（市内医療従事者向け研修） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健指導実施者数 782人 二次検査実施者数 529人 	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者への案内書の送付や架電による利用勧奨 未利用者及びハイリスク者への地区担当保健師の訪問による利用勧奨 重症化予防事業対象者への個別指導 二次検査の実施及び個別面談による検査結果説明 薬剤師の講話の実施 生活習慣病重症化予防地域連携協定に基づく医師との事例検討会の開催 大阪大学との重症化予防事業の評価に係る共同研究 糖尿病性腎臓病重症化予防ネットワーク研修会の開催（市内医療従事者向け研修） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健指導実施者数 785人 二次検査実施者数 450人 	継続	引き続き、重症化予防事業の一部を外部委託し、市職員は未利用者やハイリスク者への支援を更に強化することにより、更なる重症化予防の促進を図る。
	ドクターカーの運用	防災課 保健総務課	<p>【実施内容】</p> <p>ドクターカーを運用することで、重篤患者を医師の管理下に置くまでの時間が短縮され、救命率の向上を図ることができた。</p> <p>【出動件数】</p> <p>371件（うち寝屋川区域126件）</p>	<p>【実施内容】</p> <p>ドクターカーを運用することで、重篤患者を医師の管理下に置くまでの時間が短縮され、救命率の向上を図ることができた。</p> <p>【出動件数】</p> <p>392件（うち寝屋川区域128件）</p>	継続	引き続きドクターカーを運用し、救命救急体制を確保する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	2 生活を支える施策																														
	施策	10 人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり																													
施策の方向性	市民一人ひとりの平和に対する関心や理解の醸成を図る取組など、全ての市民が安心して平和に暮らせる環境づくりを進めます。また、人権が尊重され、性別や年齢などにかかわらず、誰もが、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けた取組を推進します。																														
施策の展開	① 平和の尊さを次世代に引き継ぐ ② 誰もが平等で幸せに生きるまちづくり ③ ダイバーシティの推進																														
関連するSDGs目標	    																														
指標名	担当課	指標の推移	R1 [基準値]					R2 [実績]					R3 [実績]					R4 [実績見込]					R5					達成率[R4]		分析(要因や寄与した取組の内容など)	今後の対応・対策
			R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5	達成率	コロナ影響		
施策指標 【数値目標】	人権相談で解決した相談者数の割合	人権・男女共同参画課	目標値	—	—	77.9%	79.9%	81.9%	91.0%		実績値	73.9%	73.8%	75.0%	72.7%		相談内容が、就労や生活の支援に関することなど専門的かつ複雑化する中で、解決に一定の期間を要する事案もあることから、目標値には至らない見込みである。	引き続き、親切丁寧な相談を行い、また早期の解決を図ることで、目標値の達成を目指す。													
	審議会などへの女性委員の登用比率	・人権・男女共同参画課(主担) ・全部局	目標値	—	—	29.1%	30.9%	32.7%	90.9%		実績値	26.6%	27.3%	27.2%	28.1%		女性委員登用の促進に向け取組を進めているが、公募委員の女性登用比率は50%以上で推移しているものの、団体選出委員として推薦される地域の団体等の役員に女性が少ないことなどから、目標値には至らない見込みである。	今後も、庁内の共通認識の向上に努めるなど、団体選出委員における女性推薦の促進を図り、目標値の達成を目指す。													
進捗管理 指標 【★: KPI】	平和啓発事業の参加者のうち、平和への理解や認識が十分に深まったと感じた市民の割合	人権・男女共同参画課	目標値	—	—	89.5%	90.5%	91.5%	76.6%		実績値	88.5%	中止	中止	69.3%		人として当たり前生きる権利を考えるついでにおいて、戦争に関する資料の展示や映画上映を行い、市民一人ひとりの平和に対する関心を高めることができたが、平和を脅かす厳しい国際情勢などを背景として、目標値には至らない見込みである。	人として当たり前生きる権利を考えるついでについて、幅広い世代の市民が参加し、平和への理解や認識が深まるような取組になるよう内容を工夫し、目標値の達成を目指す。													
	★ 人として当たり前生きる権利を考えるついで及びいじめ対策サミットの参加者数	人権・男女共同参画課	目標値	—	—	1,920人	2,000人	2,080人	89.7%	●	実績値	996人	中止	中止	1,793人		新たなイベントとして、人として当たり前生きる権利を考えるついでをいじめ対策サミットと同時開催したが、新型コロナウイルスの影響により、参加を控えた方が一定数いるものと推察され、目標値には至らない見込みである。	今後も、幅広い世代の市民の参加が得られるよう、取組内容を工夫するとともに、人権関連団体と連携を図り、目標値の達成を目指す。													
	★ 女性の就労・キャリアアップ等に関するセミナー参加者のうち就労等につながった人の割合	人権・男女共同参画課	目標値	—	—	6.2%	6.8%	7.4%	63.2%	●	実績値	4.8%	5.6%	5.1%	4.3%		セミナーの開催を通じた女性の就労・キャリアアップ支援を継続して行っているものの、新型コロナウイルスの影響により府内の雇用環境が厳しさを増していることから、目標値には至らない見込みである。	今後、府や他市町村等のセミナー実施内容なども参考に、新たな就労のニーズに応えられる内容のセミナーを開催し、目標値の達成を目指す。													

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	「いじめ問題シンポジウム」等開催事業の実施（令和3年度に完了）	人権・男女共同参画課	新型コロナウイルスの影響により中止	—	完了	—
	人として当たり前生きる権利を考えるつどいの開催	人権・男女共同参画課	— (※令和4年度から掲載)	【実施内容】 人権関係団体等による実行委員会が中心となって、様々な人権問題に対する講演会、映画上映会をはじめ、パネル展示、相談等を実施 〔開催日〕 令和4年12月3日（土） ※いじめ対策サミットと同時開催 〔開催場所〕 市民会館 〔参加者数〕 延べ840人	継続	引き続き、未就学児から高齢者まで幅広い世代の市民が気楽に参加し、男女共同参画、子どもや高齢者への虐待など様々な人権問題について正しい理解と認識を深められるイベントとして開催し、人権尊重のまちづくりの推進を図る。
	いじめ対策サミットの開催〔再掲（施策3）〕	監察課	— (※令和4年度から掲載)	【実施内容】 教育関係者や先進的な取組を進めている自治体の長、いじめの被害者家族など、様々な立場の視点からいじめ問題の解決に向けた意見交流等を実施 〔開催日〕 令和4年12月3日（土） ※人として当たり前生きる権利を考えるつどいと同時開催 〔開催場所〕 市民会館 〔参加者数〕 延べ953人（当日のオンライン視聴を含む）	継続	引き続き、いじめの抑止と早期解決に向け、いじめ防止対策の更なる推進を図る。
	女性の就労・キャリアアップ等に関するセミナーの開催	人権・男女共同参画課	【実施内容】 市民セミナー「女性のための再就職応援講座」（準備編・実践編） 〔開催回数〕 2回 〔参加人数〕 36人	【実施内容】 市民セミナー「女性のための再就職応援講座」（準備編・実践編） 〔開催回数〕 2回 〔参加人数〕 14人	継続	引き続き、女性はその能力と個性を十分に発揮し、生きがいをもって働くことができるよう、就労やキャリアアップ等につながる市民セミナーを開催し、女性の活躍推進を図る。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	2	生活を支える施策										
施策	11	誰もが安心して生活でき、共に支え合う地域づくり										
施策の方向性	市民の誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、シルバー世代や障害者を始め、援助を必要とする人が必要ときに支援を受けることができる、きめ細かな支援体制の充実を図ります。											
施策の展開	① 地域福祉の推進 ② 自立支援の推進による生活の保障 ③ シルバー世代の地域での生活支援 ④ シルバー世代への包括的な支援の提供 ⑤ 障害のある人の自立支援の推進 ⑥ 障害のある人の社会参加の促進											
関連するSDGs目標	     											
	指標名	担当課	指標の推移						【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ 影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
施策指標 【数値目標】	市民千人当たりの校区福祉委員数	福祉総務課	目標値	—	—	6.00人	6.03人	6.06人	102.8%		地域での福祉活動の必要性が広まり、校区福祉委員数が増加していることから目標値を達成できる見込みである。	引き続き、地域での福祉活動の周知に取り組み、目標値達成の継続を図る。
	実績値	5.95人	6.04人	6.17人	6.20人							
施策指標 【数値目標】	介護予防事業の延べ参加者数	高齢介護室	目標値	—	—	43,100人	44,600人	46,100人	62.6%	●	新型コロナウイルス感染症の感染対策等を講じることにより、参加者は前年度に比べて増加しているものの、目標値には至らない見込みである。	引き続き、元気アップ体操サポーター養成等を実施し、介護予防を推進することで、目標値の達成に向け、改善を図る。
	実績値	40,375人	17,325人	18,619人	27,902人							
進捗管理 指標 【★：KPI】	見守り協力者数	福祉総務課	目標値	—	—	1,414人	1,428人	1,442人	102.0%		地域での福祉活動の必要性が広まり、見守り協力者が増加したことで、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、声かけ、見守り活動の在り方を検討していくことで、目標値達成の継続を図る。
			実績値	1,386人	1,105人	1,442人	1,456人					
	生活困窮者等の就労率	保護課	目標値	—	—	52.0%	54.0%	56.0%	101.5%		常設ハローワークと連携し短期集中型で就労支援を行うとともに、生活困窮者については就労準備支援事業、生活保護受給者については就労自立支援事業や就労支援セミナーなどを組み合わせて支援を行ったことにより、目標を達成できる見込みである。	引き続き、対象者を選定し、計画的な支援に取り組み目標値達成の継続を図る。
			実績値	52.0%	61.1%	53.4%	54.8%					
	★ 通いの場の参加者数	高齢介護室	目標値	—	—	7,290人	7,530人	7,770人	36.0%	●	新型コロナウイルスの影響を受け、地域の公民館等の利用に一部制限があったこと等により、目標値の達成には至らない見込みである。	引き続き、通いの場介護予防活動を支援する補助金、専門職派遣を実施し、高齢者の外出促進による介護予防を推進することで、目標値の達成に向け、改善を図る。
			実績値	7,048人	1,882人	2,596人	2,712人					
	★ 地域包括支援センターネットワーク型地域ケア会議開催回数	高齢介護室	目標値	—	—	194回	206回	218回	107.8%		新型コロナウイルスの影響を受け、地域住民・医療・介護事業者等との会議開催回数は減少していたが、WEB形式での会議開催など開催方法の変更等を行ったことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、WEB形式での会議開催など、対面によらない開催方法も活用しながら、関係者との連携を推進していく。
			実績値	182回	82回	118回	222回					
	グループホーム利用者数	障害福祉課	目標値	—	—	311人	332人	353人	100.0%		相談等を通じ、グループホームの利用が必要な障害のある方に対して積極的な支援を行ったことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、グループホームの利用が必要な方に対して積極的かつ継続的な支援を行い、目標値の達成の継続を目指す。
			実績値	258人	276人	300人	332人					
★ 就労定着支援サービス利用者数	障害福祉課	目標値	—	—	66人	76人	86人	100.0%		就労に関する定着支援を行ったことにより、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、必要な方からの相談を受け、就労に関する定着支援を行うことで、目標値の達成の継続を目指す。	
		実績値	46人	56人	57人	76人						

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	通いの場介護予防活動への支援	高齢介護室	【実施内容】 通いの場運営団体に対し、補助金の交付、リハビリテーション専門職の派遣により活動を支援した。 【補助金交付団体数】 19団体 【専門職派遣団体数】 4団体 【対象】 介護予防を目的とした通いの場を運営し、65歳以上市民が10人以上参加する等の基準を満たす団体（法人格不要） 【補助金交付額】 一団体につき1回1,000円で上限50,000円/年（補助対象経費支出額内に限る。）	【実施内容】 通いの場運営団体に対し、補助金の交付、リハビリテーション専門職の派遣により活動を支援した。 【補助金交付団体数】 26団体 【専門職派遣団体数】 8団体 【対象】 介護予防を目的とした通いの場を運営し、65歳以上市民が10人以上参加する等の基準を満たす団体（法人格不要） 【補助金交付額】 一団体につき1回1,000円で上限50,000円/年（補助対象経費支出額内に限る。）	継続	引き続き、通いの場介護予防活動を支援する補助金、専門職派遣を実施し、高齢者の外出促進による介護予防を推進する。
	元気アップ介護予防ポイント事業の推進	高齢介護室	【実施内容】 サポーター登録研修の開催、交付金の交付、ボランティア活動受入施設との連絡調整等により高齢者の社会参加活動促進を図った。 【サポーター登録研修開催回数】 4回 【サポーター実活動者数】 63人 【受入施設数】 144か所	【実施内容】 サポーター登録研修の開催、交付金の交付、ボランティア活動受入施設との連絡調整等により高齢者の社会参加活動促進を図った。 【サポーター登録研修開催回数】 4回 【サポーター実活動者数】 57人 【受入施設数】 145か所	継続	引き続き、施設ボランティア活動に対するポイント事業を実施し、高齢者の外出促進による介護予防を推進する。
	地域包括支援センターの運営	高齢介護室	【実施内容】 高齢者が住み慣れた地域で自立生活が継続できるよう、12か所の地域包括支援センターにおいて総合相談、権利擁護等に対応し、高齢者の地域生活の継続支援を図った。 【総合相談件数】 5,663件 【権利擁護対応件数】 99件	【実施内容】 高齢者が住み慣れた地域で自立生活が継続できるよう、12か所の地域包括支援センターにおいて総合相談、権利擁護等に対応し、高齢者の地域生活の継続支援を図った。 【総合相談件数】 6,155件 【権利擁護対応件数】 188件	継続	引き続き、地域包括支援センターにおいて総合相談、権利擁護等に対応し、高齢者の在宅生活継続を支援する。
	認知症サポーター養成講座の実施	高齢介護室	【実施内容】 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する正しい知識や理解の普及啓発を図った。 【認知症サポーター養成講座開催数】 10回 【認知症サポーター養成講座受講者数】 158人	【実施内容】 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する正しい知識や理解の普及啓発を図った。 【認知症サポーター養成講座開催数】 18回 【認知症サポーター養成講座受講者数】 358人	継続	引き続き、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する正しい知識や理解の普及啓発を図ることで、認知症高齢者の在宅生活継続を支援する。
	地域での障害者雇用の啓発	障害福祉課	【実施内容】 ・雇用啓発事業 エルガイダンス（実践報告22人、模擬面接会27人）の実施 ・企業交流会の実施（14社16人） ※市庁舎内実習は新型コロナウイルスの影響により未実施	【実施内容】 ・雇用啓発事業 エルガイダンス（実践報告35人、模擬面接会28人）の実施 ・企業交流会の実施（8社13人） ・市庁舎内実習の実施（4日間 5人）	継続	引き続き、雇用啓発イベント等を実施し、障害者雇用の促進を図る。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	2	生活を支える施策											
施策	12	衛生的で快適な生活の確保											
施策の方向性	市民がいつでも安心して医療を受けることができるよう、医療提供体制の確保など、地域保健の充実を図ります。また、感染症の予防、拡大防止に関する取組や生活衛生に関する取組など、安全で快適な生活環境づくりを進めます。												
施策の展開	① 地域保健の充実 ② 感染症の予防と拡大防止の強化 ③ 良好な生活衛生の維持 ④ 安全・安心な水道水の安定的な供給 ⑤ 下水道施設を通じた衛生的な生活の維持・確保												
関連するSDGs目標	    												
指標名	担当課	指標の推移								【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策			
施策指標 【数値目標】	結核罹患率（人口10万対）	保健予防課	目標値	—	—	15.5	15.0	14.5	135.7%	●	新型コロナウイルスの影響により、全国的に新登録結核患者数は減少しており、目標値を達成できる見込みである。	寝屋川市では新登録患者のうち高齢者（75歳以上）の割合が高く、高齢者本人のみならず、高齢者に関わる人々（家族や介護サービス関係者、医療機関等）への啓発を継続・増進させることで、目標値達成の継続を図る。	
			実績値	16.5	13.1	8.3	9.7						
	水洗化率	経営総務課	目標値	—	—	98.9%	99.1%	99.3%	99.6%	●	高齢化の進行や経済的理由等により下水道への接続が進まず、目標値には至らない見込みである。	積極的に訪問指導を実施し、水洗便所改造資金融資あっせん制度の周知を行うなど、水洗化を促進し、目標値の達成を目指す。	
			実績値	98.5%	98.6%	98.6%	98.7%						
進捗管理 指標 【★：KPI】	★ BCP（事業継続計画）策定済みの病院総数	保健総務課	目標値	—	—	8か所	11か所	14か所	81.8%	●	災害時医療活動に係る研修会等の機会を通じてBCPの策定の必要性について伝えることにより、目標値には至らない見込みであるものの、大幅に増加させることができた。	引き続き、災害時医療活動に関する訓練や研修を通してBCP策定の必要性について理解促進を図ることにより、目標値の達成を目指す。	
			実績値	2か所	2か所	3か所	9か所						
	結核患者の早期発見（1か月以内）の割合	保健予防課	目標値	—	—	77.7%	78.9%	80.1%	27.1%	●	新型コロナウイルスによる受診控えの傾向があること、また新型コロナウイルスの感染対策上、結核診断に重要な喀痰検査が実施しにくい背景があり、結核の確定診断までに時間を要することから目標値の達成に至らない見込みである。 (※本集計では結核患者の母数が少ないため、人数変動による指標への影響が大きくなっている。)	結核専門病院以外の医療機関においても、診察場面で結核を疑い積極的に必要な検査を実施してもらえよう、医療機関向けパンフレットの作成を継続的に実施する。また、75歳以上の市民への郵便物に結核啓発のチラシを同封するなど、有症状時の早期受診を促すことで、結核の早期発見と同居家族等、他者への感染リスク低減を図り、目標値の達成を目指す。	
			実績値	75.3%	46.7%	11.1%	21.4%						
	施設の監視実施率（食品衛生）	保健衛生課	目標値	—	—	34.0%	36.0%	38.0%	100.0%	●	食中毒予防啓発事業の実施により、スーパーへ多数監視を行ったことで、目標値を達成できる見込みである。	引き続き継続的な監視を実施することにより、目標値達成の継続を図る。	
			実績値	34.5%	33.5%	27.1%	36.0%						
	水道事業経常収支比率	経営総務課	目標値	—	—	100%以上	100%以上	100%以上	112.7%	●	人口減少等により給水収益が減少を続ける中、経常経費の抑制等の取組を推進することで、目標値を達成する見込みである。	引き続き、人口減少等による給水収益の減少や電力価格高騰など、経常収支に影響を及ぼす要因に注視するとともに、より一層の経常経費抑制と財源確保に努め、目標値達成の継続を図る。	
			実績値	105.8%	112.8%	112.7%	112.7%						
	下水道事業経常収支比率	経営総務課	目標値	—	—	100%以上	100%以上	100%以上	108.6%	●	人口減少等により下水道使用料収入が減少を続ける中、経常経費の抑制等の取組を推進することで、目標値を達成する見込みである。	引き続き、人口減少等による下水道使用料収入の減少や電力価格高騰など、経常収支に影響を及ぼす要因に注視するとともに、より一層の経常経費抑制と財源確保に努め、目標値達成の継続を図る。	
			実績値	105.0%	106.4%	108.7%	108.6%						

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	健康危機事象対策の推進	保健総務課	【実施内容】 ・災害時医療・救護体制等にかかる検討会議（3回開催） ・災害時医療・救護体制マニュアルの改訂（令和4年度に完成予定） ・災害時医療救護にかかる研修会（WEB）1回 ・PPE着脱訓練・N95マスクフィットテスト 1回 ・危機事象発生時の市民対応に必要な防護服等の物品整備 ・交通機関途絶時の参集所要時間調査	【実施内容】 ・市災害医療センターを市内4病院に設置（協定締結） ・保健所、市災害医療センターに衛星携帯電話及び備品の整備 ・市保健医療調整本部と市内医療コーディネーター間の連絡ツールの確立 ・災害時医療・救護体制マニュアルの改訂 ・災害時医療救護に係る研修会（WEB）1回・訓練 1回 ・危機事象発生時の市民対応に必要な防護服等の物品整備 ・交通機関途絶時の参集所要時間調査 ・安否確認・初動訓練	継続	・市災害医療センターや医療救護所になる病院に対し、災害時医療救護活動が迅速、効果的に行われるよう研修、訓練及び連絡会を実施する。 ・平時から連絡ツールを活用し、災害時に迅速に関係機関と連絡調整ができるよう訓練等を実施する。 ・健康危機事象に対する平時の備えとして、災害時初動訓練や防護服等の物品整備等を引き続き実施する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	2	生活を支える施策									
施策	13	環境を守り、日頃のくらしを良好に									
施策の方向性	市民一人ひとりのごみ減量、リサイクルなどに対する意識の向上を図るとともに、ごみの適正処理、地球温暖化対策や公害防止に関する取組などを通じ、環境に配慮した住みよいまちづくりを推進します。										
施策の展開	① ごみの減量とリサイクルの推進 ② 円滑で適正なごみ処理の推進 ③ 産業廃棄物の適正処理の推進 ④ し尿の適正処理の推進 ⑤ 地球環境と調和したまちづくりの推進 ⑥ 公害防止対策の推進										
関連するSDGs目標											
指標名	担当課	指標の推移	【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策								
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
市民一人・1日当たりのごみ排出量	環境総務課	目標値	—	—	820.7g	812.5g	800.0g	100.7%	●	ごみ減量コンテストや民間事業者との連携による4Rの推進などの取組により、ごみの減量・資源化の推進を図ったことで、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、ごみ減量施策に関する情報発信を推進するとともに、排出抑制など4Rについて意識を高揚させるため、ごみ減量コンテストにおける優秀な取組の周知や民間事業者との連携など、市民と共に取り組める工夫を凝らした啓発活動を実施していく。
		実績値	845.1g	836.4g	823.6g	807.2g					
再生利用率（リサイクル率）	環境総務課	目標値	—	—	22.27%	22.75%	23.25%	92.7%	●	小型家電回収ボックス及び小型充電式電池回収ボックスの設置や民間事業者との連携等の取組により、ごみの減量・資源化を図ったものの、目標値の達成には至らない見込みである。	目標値の達成に向け、民間事業者との連携についての周知や引き続き市立小中学校での雑紙等の回収や雑紙分別の啓発等を実施することにより、リサイクルできる資源の周知と更なる分別・リサイクル意識の向上を図る。
		実績値	21.27%	21.20%	21.34%	21.10%					
ごみの焼却処理量	環境総務課	目標値	—	—	53,265t	52,497t	51,848t	100.4%	●	市立小中学校での雑紙等の回収事業や小型家電及び小型充電式電池回収ボックスの設置による回収を通じ、ごみの減量・資源化を図ったことで目標値を達成できる見込みである。	引き続き、ごみ減量施策に関する情報発信と取組を推進し、市民・事業者・行政の協働体制を構築するとともに、排出抑制など4Rについて意識の高揚につながる啓発を実施していく。
		実績値	55,312t	54,513t	53,344t	52,312t					
ごみの最終処分量	環境事業課	目標値	—	—	8,358t	8,245t	8,153t	107.2%	●	分別排出の啓発及び再資源化の推進、並びに可燃ごみ等の適正処理を実施したことで目標値を達成できる見込みである。	引き続き、分別排出の啓発や更なる再資源化の推進を図り、目標値達成に向けた取組を進めていく。
		実績値	8,339t	8,412t	8,346t	7,654t					
産業廃棄物に係る不適正処理事案の解決率	環境保全課	目標値	—	—	100%	100%	100%	100.0%	●	産業廃棄物の不適正処理に関する苦情に対しては、苦情受付後の速やかな現場確認等の対応や、行為者等に対する適正処理の指導を実施することで解決を図り目標値を達成できる見込みである。	産業廃棄物の不適正処理事案に対する迅速かつ適切な苦情処理対応を行っていくとともに、解決困難な事案に対しては、情報収集の手法等を工夫し、解決に向けての調査を行って行くことで、目標値の達成を図る。
		実績値	100%	100%	96.7%	100%					
し尿等の処理量	環境事業課 緑風園	目標値	—	—	1,511kl	1,255kl	1,059kl	49.4%	●	経済的な理由や地理的・物理的要因により下水道への接続が進んでいない状況により目標値には至らない見込みである。	下水道未接続世帯に対し、引き続き公共下水道への接続を促進することにより、目標値の達成を目指す。
		実績値	2,206kl	1,946kl	1,935kl	1,890kl					
★ 廃棄物の処理に係る温室効果ガス排出量	環境総務課	目標値	—	—	18,970t-CO ₂ /年	18,200t-CO ₂ /年	17,370t-CO ₂ /年	95.0%	●	ごみの減量・資源化の推進により、廃棄物処理から発生する温室効果ガスの発生抑制に努めたものの、目標値の達成には至らない見込みである。	目標値の達成に向け、更なるごみ減量施策に関する情報発信と取組を推進することにより、ごみ減量や分別意識の向上を図り、廃棄物処理から発生する温室効果ガスを抑制させることで、目標値の達成を目指す。
		実績値	20,863t-CO ₂ /年	20,390t-CO ₂ /年	19,323t-CO ₂ /年	19,111t-CO ₂ /年					
公害に係る苦情の解決率	環境保全課	目標値	—	—	100%	100%	100%	95.2%	●	公害に関する苦情については迅速な解決に向け、工場・事業場に対して規制基準を順守するよう指導に努めているが、解決に一定の期間を要する事案もあるため、目標値の達成には至らない見込みである。	苦情受付後の迅速な解決に向け、工場・事業場に対して規制基準を順守するよう指導するとともに、解決に期間を要する事案については、早期に解決できるよう適切な対応を徹底して行くことで、目標値の達成を図る。
		実績値	95.3%	92.4%	94.6%	95.2%					

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	ごみ発電による温室効果ガスの削減	環境総務課	【実施内容】 クリーンセンターの発電設備によるごみ発電等を実施 【クリーンセンター総消費電力量】 8,451,927kWh 【購入電力量】 440,739kWh 【自家発電による消費電力量】 8,011,188kWh	【実施内容】 クリーンセンターの発電設備によるごみ発電等を実施 【クリーンセンター総消費電力量】 8,074,266kWh 【購入電力量】 188,538kWh 【自家発電による消費電力量】 7,885,728kWh	継続	引き続き、施設を適正に運転管理し、ごみ発電等を安定的に行うことで、温室効果ガスの削減を図る。
	太陽光発電システム設置に対する補助	環境総務課	【実施内容】 住宅、自治会集会所への太陽光発電システム設置に対する補助を実施 【住宅補助実績】 99件、11,046,000円	【実施内容】 住宅、自治会集会所への太陽光発電システム設置に対する補助を実施 【住宅補助実績】 100件、12,000,000円 【自治会集会所補助実績】 1件、2,059,200円	継続	引き続き、住宅、自治会集会所への太陽光発電システム設置に対する補助を実施し、温室効果ガスの削減を図る。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策										
施策	14	学びによる市民文化の向上と発展										
施策の方向性	人とのつながりを育み、生涯にわたって自分らしく生きがいを持って、心豊かに生活を送ることができるよう、文化芸術に触れることができる機会の充実を図るとともに、スポーツ、生涯学習などに親しむことができる環境づくりを進めます。											
施策の展開	① 生涯にわたる多様な学習ニーズへの対応 ② 文化芸術に触れ、豊かな心と感性の醸成 ③ スポーツを通じたひと・まちづくり ④ 身近で親しめる読書環境・活動の充実											
関連するSDGs目標	   											
指標名	担当課	指標の推移	指標の推移							【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策		
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	市民一人当たりの生涯学習活動回数	・社会教育課（主担） ・文化スポーツ室 ・中央図書館 ・青少年課 ・施設給食課	目標値	—	—	8.0回	8.0回	8.1回	76.3%	●	感染対策を講じ、各種事業の開催方法を精査した上で実施したことから、前年度実績から改善したものの、新型コロナウイルスの影響により、引き続き活動を見合わせる方々が多かったため、目標値には至らない見込みである。	市民の活動が再開できるよう、開催方法及び周知・啓発方法等を検討し、目標値の達成に向けた改善を図る。
	実績値	7.2回	4.2回	5.2回	6.1回							
施策指標 【数値目標】	図書館の市民一人当たりの貸出冊数	中央図書館	目標値	—	—	4.2冊	4.4冊	4.6冊	100.0%		駅前立地を活かした中央図書館が、気軽に読書に親しめる文化の拠点として効果的に機能するとともに、自動貸出機や自動返却機等のICT機器を活用した、利用しやすい図書館機能を整備したことにより、図書の利用が促進され、目標値を達成できる見込みである。	中央図書館を市内の図書館ネットワークの中核・起点として、様々な事業の実施により、図書の流通を推進し、目標値達成の継続を図る。
	実績値	3.7冊	3.0冊	4.2冊	4.4冊							
進捗管理 指標 【★：KPI】	生涯学習事業の参加者数	社会教育課（主担） 文化スポーツ室	目標値	—	—	121,800人	127,900人	134,300人	59.2%	●	感染対策を講じ、各種事業の開催方法を精査した上で実施したことから、前年度実績から改善されたものの、新型コロナウイルスの影響により、引き続き活動を見合わせる方々が多かったため、目標値には至らない見込みである。	市民の活動が再開できるよう、開催方法及び周知・啓発方法等を検討し、目標値の達成に向けた改善を図る。
	実績値	116,007人	42,523人	50,824人	75,753人							
	★ 寝屋川文化芸術祭の参加者数	文化スポーツ室	目標値	—	—	24,500人	25,000人	25,500人	87.7%	●	感染対策を講じ、コロナ禍以前と同規模で開催したことで参加者数が増加したものの、引き続きのコロナ禍を背景とした参加控えがあったと考えられ、目標値には至らない見込みである。	文化・芸術を体験できる機会を充実するとともに、様々な媒体を用いた周知・啓発を積極的に行うなど、目標値の達成に向けた改善を図る。
	実績値	24,015人	中止	7,035人	21,918人							
★ 寝屋川ハーフマラソン参加者のうち寝屋川市民の参加人数	文化スポーツ室	目標値	—	—	1,718人	1,745人	1,772人	—	●	新型コロナウイルスの影響や他大会との日程の重複により、参加を見合わせる方々が多く、大会を中止とした。	開催方法の検討、精査など、実施に向けた調整を行うことで、目標値の達成を目指す。	
実績値	中止	中止	中止	中止								
★ 図書の配送事業利用者数	中央図書館	目標値	—	—	1,360人	1,610人	1,920人	124.2%		配送事業利用申請の受付を中央図書館だけでなく、その他の分館・分室等でも開始したほか、チラシの作成や、窓口カウンターなどでの市民周知の取組により、利用者が増え、目標値を達成できる見込みである。	今後も引き続き、あらゆる媒体等を活用して事業を周知し、目標値達成の継続を図る。	
実績値	令和2年度から事業実施	745 (半年)	2,053人	2,000人								

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	寝屋川文化芸術祭への支援	文化スポーツ室	【実施内容】 寝屋川文化芸術祭の開催 ・開催日 令和3年10月30日（土）、31日（日） ・参加者数 7,035人	【実施内容】 寝屋川文化芸術祭の開催 ・開催日 令和4年11月5日（土）、6日（日） ・参加者数 21,918人	継続	引き続き寝屋川文化芸術祭を開催し、市民活動の成果発表や、特に子ども達が参加しやすい体験講座等を実施することで、文化芸術活動及び地域の活性化を図る。
	寝屋川ハーフマラソンへの支援	文化スポーツ室	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響や他大会との日程の重複により中止	継続	開催方法を検討・精査して、実施に向けた調整を行うことで、大会開催を目指し、市の魅力の発信と地域の活性化を図る。
	中央図書館の整備・運営	中央図書館	【実施内容】 気軽に読書に親しむ文化活動の拠点として、令和3年8月にアドバンスねやがわ1号館4階に中央図書館を開館 ・平均来館者数 30,592人/月、平日 1,155人/日、休日 1,416人/日 ・平均貸出冊数 32,919冊/月	【実施内容】 中央図書館が開館して約1年5か月の令和4年12月に来館者数50万人を達成 ・平均来館者数 28,441人/月、平日 1,065人/日、休日 1,156人/日 ・平均貸出冊数 37,787冊/月	継続	図書館ネットワークの拠点として、様々な事業を展開し、市民が本に触れる機会の増加を図る。また、より市民が図書館を利用しやすいマイナンバーカード等の活用を検討する。
	図書の配送事業の推進	中央図書館	【実施内容】 図書館に行きたくても行く機会が持てない市民に対し、図書館の本を郵便局やシティ・ステーションなど身近な場所に本を届け、返却ができるなど、読む機会を増やす市民サービスの充実を図った。 【利用者数】 2,053人	【実施内容】 図書配送事業の利用申請の受付を中央図書館のみから、2分館・5分室、移動図書館でも開始した。図書館に行きたくても行く機会が持てない市民に対し、図書館の本を郵便局やシティ・ステーションなど身近な場所に本を届け、返却ができるなど、読む機会を増やす市民サービスの充実を図った。 【利用者数】 2,000人	継続	図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の配送事業を引き続き実施し、市民の読書活動を推進する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策										
施策	15	豊かな自然があるくらし										
施策の方向性	市名の由来にもなっている一級河川「寝屋川」を始め、自然の恵みを次代へ引き継ぐため、自然環境と共生するまちづくりを推進します。また、水辺環境の整備、保全を通じ、市民が水と触れ合う場の充実に努めます。											
施策の展開	① みどりのある都市空間の創出 ② 地域ニーズに応じた協働による公園づくり ③ 水とのふれあい・豊かな水辺の創造											
関連するSDGs目標	    											
指標名	担当課	指標の推移							【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策			
		R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	市域面積に対する緑地の割合	公園みどり課	目標値	—	—	14.80%	14.85%	14.90%	99.3%		新たな公園・緑地等の整備により、公園・緑地等の面積の増加に努めるとともに、緑地の確保につながる区画整理事業を推進したものの、今年度は大規模開発に伴う公園整備がなかったため、目標値には至らない見込みである。	今後、みどりが不足している地域や防災上整備が求められる場合など、整備の必要性を十分踏まえた上で、法令や開発指導を通じてみどりの創出に努めることにより、目標値の達成を目指す。
	実績値	14.70%	14.70%	14.73%	14.74%							
みどりに関する団体の活動区域面積	公園みどり課	目標値	—	—	14.8ha	15.1ha	15.4ha	94.0%	●	新型コロナウイルスの影響により、団体活動や取組が制限されたこともあり、十分に活動が行えなかったため、目標値には至らない見込みである。	引き続き、団体活動の場の積極的な活用につながる広報活動等を行うとともに、未活動地域における新規登録団体の確保に向けた周知・啓発をより一層強化していくことで、目標値の達成を目指す。	
		実績値	14.2ha	14.2ha	14.2ha	14.2ha						
みどりに関する団体の登録件数の累計	公園みどり課	目標値	—	—	139件	142件	145件	98.6%	●	新型コロナウイルスの影響により、団体活動や取組が制限されたことで新規の団体からの登録申込みが無く、目標値には至らない見込みである。	引き続き、公園愛護会、公園・緑地等サポーター事業、健康花壇の実施団体からの要望等に対応するとともに、新規団体の確保に向けた積極的な募集に努める。	
		実績値	137件	140件	140件	140件						
★都市公園整備済み面積の累計	公園みどり課	目標値	—	—	132.01ha	132.43ha	132.85ha	99.9%		新たな都市公園の整備、また開発によるちびっこ老人憩いの広場の帰属等が無かったため、前年度と同値に留まり、目標値には至らない見込みである。	今後は、区画整理事業、土地開発等あらゆる機会を捉えて新たな公園の創出に努める。	
		実績値	131.01ha	131.91ha	132.35ha	132.35ha						
★水辺の整備・保全活動の参加者数	下水道事業室	目標値	—	—	4,500人	4,800人	5,000人	13.3%	●	新型コロナウイルスの影響により、年2回のクリーンリバーやワークショップなどの事業が中止となったことから、目標値には至らない見込みである。	引き続き、周知に努めるなど、活動への参加を促していくことで、目標値の達成を目指す。	
		実績値	4,792人	343人	621人	636人						
★ねやがわプールの参加者数	公園みどり課（主担） 子育て支援課 文化スポーツ室	目標値	—	—	中止予定のため未設定	8,000人	10,000人	—	●	新型コロナウイルスの影響により中止	多くの子どもが水に親しめ、楽しめるイベント等について検討する。	
		実績値	6,900人	中止	中止	中止						

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	打上川治水緑地パークマネジメントの推進	公園みどり課	【実施内容】 ・打上川治水緑地パークマネジメントプラン策定業務契約締結（～令和5年3月31日） ・打上川治水緑地パークマネジメントプラン策定推進委員会設置 ・簡易施設の整備（ドッグラン、バーベキュー広場等）	【実施内容】 ・打上川治水緑地パークマネジメントプラン策定推進委員会・幹事会開催 ・ワークショップによるイベント（わくわくDAY）開催 ・「打上川治水緑地パークマネジメントプラン」策定	継続	今年度、打上川治水緑地パークマネジメントプランを策定し、プランに基づき市民の多様なニーズに対応できる魅力ある公園整備を行い、新たな管理運営体制のもと対外的訴求効果を有する「訪れたい都市空間」の創出に努める。
	都市公園の魅力向上に向けた検討	公園みどり課	【実施内容】 「都市公園等再編整備基本方針」の策定	【実施内容】 ・「都市公園等再編整備基本方針」に基づく検討 ・「打上川治水緑地パークマネジメントプラン」の策定 ・その他の都市公園におけるマネジメントに向けた関係者との調整	継続	都市公園再編整備基本方針において、「訪れたい都市空間」、「利用したい都市空間」、「集いやすい都市空間」の創出に向け「打上川治水緑地パークマネジメントプラン」の策定を始めとし、様々な機会や手法で検討を進める。
	ねやがわブルズへの支援	公園みどり課	新型コロナウイルスの影響により中止	【実施内容】 新型コロナウイルスの影響により中止	継続	多くの子どもが水に親しみ、楽しめるイベント等について検討する。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策											
施策	16	地域づくり・きずなづくり											
施策の方向性	住み慣れた地域で、誰もが互いに助け合い、協力しながら心豊かに暮らせるよう、地域活動の担い手の育成・確保や地域ニーズに対応した特色ある地域づくりなど、自主的な地域コミュニティ活動への支援を通じ、地域コミュニティの活性化を推進します。												
施策の展開	① 地域の特色を活かしたコミュニティづくり ② 互いの文化を認め合い、世界につながるまちづくり												
関連するSDGs目標													
指標名	担当課	指標の推移	【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策										
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ 影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
施策指標 【数値目標】	地域協働協議会が行う活動・事業への延べ参加者数	市民活動振興室	目標値	—	—	24,800人	25,000人	25,200人		33.6%	●	前年度と比べると参加者数は増加したものの、新型コロナウイルスの影響により、引き続き会議や事業など対面で行う多くの活動が中止となったため、目標値には至らない見込みである。	今後の地域協働の活動について、他の協議会の取組を情報共有するとともに、段階的な活動再開に向けて支援を行うことにより、目標値の達成を目指す。
			実績値	24,546人	1,870人	3,917人	8,409人						
進捗管理 指標 【★：KPI】	コミュニティ奨励補助金の申請率	市民活動振興室	目標値	—	—	94.0%	95.0%	96.0%		41.1%	●	新型コロナウイルスの影響により、一部の自治会では密を避けての清掃活動等が実施されたが、多くの自治会では活動を実施することができなかったため、目標値には至らない見込みである。	引き続き申請可能な事業を自治会へ周知するとともに、段階的な活動再開に向けて支援を行うことにより、目標値の達成を目指す。
			実績値	91.5%	34.5%	41.5%	39.0%						
進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 地域協働協議会の活動回数	市民活動振興室	目標値	—	—	353回	360回	367回		55.6%	●	前年度と比べると活動団体は増加したものの、新型コロナウイルスの影響により、引き続き会議や事業など対面で行う多くの活動が中止となったため、目標値には至らない見込みである。	今後の地域協働の活動について、他の協議会の取組を情報共有するとともに、段階的な活動再開に向けて支援を行うことにより、目標値の達成を目指す。
			実績値	353回	82回	128回	200回						
進捗管理 指標 【★：KPI】	多文化共生事業の参加者数	市民活動振興室	目標値	—	—	2,980人	3,040人	3,100人		58.9%	●	前年度と比べると参加者数は増加したものの、新型コロナウイルスの影響により各種事業が中止となったことに伴い、参加者数が減少したことから、目標値には至らない見込みである。	今後の多文化共生事業について、段階的な事業再開に向けて支援を行うとともに、様々な媒体で事業や相談窓口の周知を図ることにより、目標値の達成を目指す。
			実績値	2,974人	728人	487人	1,791人						
事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】		進捗を踏まえた今後の方向性								
			区分	説明									
リーディング事業 【総合戦略事業】	地域協働の推進	市民活動振興室	【実施内容】 ・地域協働協議会関係者会議の開催 2回（全24校区の会長等が出席） 令和3年7月、11月に実施 ・地域協会長と社明委員長との情報共有 中学校単位で、地域の担い手不足の解消や事業の整理などを中心に、互いの課題等の情報交換会を実施（令和4年1月）	【実施内容】 ・地域協働協議会関係者会議の開催 4回（全24校区の会長等が出席） 令和4年6月、9月、11月、2月に実施 ・地域協会長と社明委員長との情報共有 中学校単位で、地域の担い手不足の解消や事業の整理などを中心に、互いの課題や組織統合に向けた情報交換会を実施（令和4年12月）	継続	引き続き地域の声を丁寧に聴きながら、担い手不足の解消に向け、地域住民が事業に参加し、地域活動に関心を持ってもらえるよう、協議会活動を支援する。							

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策											
施策	17	市民ニーズを捉えた行政サービスの充実											
施策の方向性	窓口改革などの取組により、行政手続における市民の利便性の向上や迅速化を図るとともに、市民が来庁することなく手続ができる環境を整備するなど、行政サービスの充実に向けた取組を推進します。												
施策の展開	① 市民に寄り添う窓口対応 ② 行政手続のオンライン化の推進 ③ 市民が利用しやすい施設環境の整備												
関連するSDGs目標	  												
施策指標	指標名	担当課	指標の推移					【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策					
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	達成率【R4】	コロナ影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策		
■ 施策指標 【数値目標】	来庁によらない手続等の割合	総務担当	目標値	—	—	55.1%	56.3%	57.4%	117.2%	●	コロナ禍において、非接触環境を推進する観点から市ホームページ等で、郵送、各種証明書のコンビニ交付、電子申請での手続を促進する等の取組を推進したことにより、特にコンビニ交付の実績が前年度を大きく上回る見込みであることから、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、行政手続のオンライン化を推進するとともに、郵送などの手続を促進することあわせてマイナンバーカードの普及を視野に入れ、各種証明書のコンビニ交付を周知することで、来庁によらない手続件数を増やし、目標値達成の継続を図る。	
	実績値	52.9%	59.0%	66.2%	66.0%								
■ 施策指標	個人番号カードの交付率	戸籍・住基担当	目標値	—	—	70.9%	100%	100%	57.7%	●	マイナポイント事業第二弾及び商業施設・地域公民館・期日前投票所における出張受付の拡充や交付体制を強化したが、目標値達成には至らない見込みである。	地域に根差した出張受付の拡充や交付体制の強化をすることで、申請を促進し、交付率の向上を図る。	
	実績値	17.8%	27.6%	39.8%	57.7%								
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	お待たせしないための窓口予約の利用件数	総務担当	目標値	—	—	5,650件	5,890件	6,150件	145.7%	●	ホームページ、広報等の周知や、マイナンバーカードの申請・交付手続に関する申請補助の窓口予約が増加したこと等により目標値を達成できる見込みである。	やむを得ず来庁する必要がある方に対して、来庁時には予約をして来庁していただけるよう予約可能な手続を増やし、また、その周知を強化することにより目標達成の継続を図る。	
	実績値	令和2年度から事業実施	7,110件	8,460件	8,580件								
	★	窓口業務のICT活用による来庁を要しない件数の割合	総務担当	目標値	—	—	34.6%	36.0%	37.5%	103.1%	●	マイナンバーカード交付時にコンビニ交付や電子申請に係るチラシ配布を行うなど、ICT活用による来庁を要しない手続を促進したことにより、コンビニ交付等の件数が増加しており、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、窓口業務のICT化を進めるとともに、来庁を要しない手続の周知促進を図ることにより、目標値達成の継続を図る。
実績値	31.7%	34.6%	38.0%	37.1%									
★	寝屋川斎場改修工事進捗率	市民生活担当	目標値	—	—	3.2%	35.5%	67.8%	100.0%	●	寝屋川斎場改修工事及び施工監理業務委託の契約を締結し、改修計画どおり着工することができた。また、着工後は、工事の進捗管理を適切に行い、目標値を達成できる見込みである。	寝屋川斎場改修工事の計画的な実施に取り組み、目標値達成の継続を図る。	
実績値	—	0.6%	3.2%	35.5%									
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】					取組実績【令和4年度見込み】				進捗を踏まえた今後の方向性	
			区分	説明									
	各種手続等デジタル化の推進	総務担当 戸籍・住基担当	【実施内容】 ・LINEによる窓口予約の件数 8,320件 ・証明書自動交付機による証明書の交付実績 6,957件 ・住民票等証明書交付に係る手数料のキャッシュレス化（QRコード）	【実施内容】 ・証明書自動交付機による証明書の交付実績 5,407件 ・住民票等証明書交付に係る手数料のキャッシュレス化（クレジットカード、電子マネー）	継続	引き続き、窓口予約の利用を推進するなど待ち時間の短縮を図る。 また、来庁せずに手続ができるオンライン相談を促進するなど、更なる利便性向上と、来庁者の「時間と距離」の短縮を図る。							
寝屋川斎場施設の整備	市民生活担当	【実施内容】 ・寝屋川市斎場改修計画の策定 ・実施設計業務委託の実施	【実施内容】 ・寝屋川市斎場改修工事及び施工監理業務委託の契約締結 ・待合ホール改修及び避難経路扉改修	継続	令和4年度に策定した改修工事の全体スケジュールに基づき、令和5年度以降、順次改修工事を実施する。 【令和5年度】炉前ホール改修、炉入替 【令和6年度】炉前ホール改修、炉入替、収骨室設置 他								

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策										
施策	18	市民ニーズの把握・情報発信力の強化										
施策の方向性	市民ニーズを迅速かつ的確に把握するとともに、情報の多角的な分析等を通じ、対外的訴求力の高い施策立案につなげます。また、ターゲット層や目的を明確化し、社会性やタイミング、ビジュアルを意識した情報発信を行うことで、市内外における市のイメージの向上を図るとともに、即時性や拡散性、双方向性などの媒体の特性を活かし、効果的に市民に情報を届けます。											
施策の展開	① 市民に寄り添うニーズ把握、利活用 ② 戦略的なプロモーション ③ 媒体の特性を活かした情報発信											
関連するSDGs目標	  											
指標名	担当課		指標の推移					達成率[R4]		【令和4年度】目標値に対する実績値の分析及び今後の対応・対策		
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5		コロナ 影響	分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
★ 施策指標 【数値目標】	市公式アプリ「もっと寝屋川」のインストール数の累計	企画三課	目標値	—	—	41,000件	47,000件	53,000件	144.5%		新型コロナウイルスに関する情報など即時性のある情報発信、高齢者スマホ教室の開催等の取組により、目標値を達成できる見込みである。	より多くの市民にインストールしてもらえよう、引き続き転入や入学等のタイミングを捉えた周知を行うとともに、より利便性の高いアプリとするため機能強化を図る。
	実績値	24,869件	45,732件	57,731件	67,938件							
★ 施策指標 【数値目標】	市公式SNSのフォロワー数	企画三課	目標値	—	—	8,660人	9,720人	10,780人	122.3%		令和3年度と比較イベント等の開催が増え、市内の出来事や魅力等を積極的に発信できたことと、Instagramのストーリー等を活用することにより、目標値を達成できる見込みである。	今後も担当課と情報共有を行い、迅速かつ積極的に情報発信するとともに、市民の目に留まる内容となるようタイトル付けや写真撮影等を工夫し、より多くのフォロワー数獲得を目指す。
	実績値	3,568人	8,620人	11,107人	11,888人							
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 政策の立案・サービスの改善等につながった調査の割合	企画二課	目標値	—	—	100%	100%	100%	100.0%		転入・転出モニターアンケート及び子育て世代・地域別タウンミーティングにて市民のニーズを把握し、担当課と連携の上、サービスの改善等につなげたことで、目標値を達成できる見込みである。	引き続き、様々な機会、媒体を通じ、市民満足度の向上を図る政策の立案・サービスの改善につながる調査を実施することにより、目標値達成の継続を図る。
	実績値	令和2年度から事業実施	100%	100%	100%							
	★ 市公式YouTubeチャンネル登録者数	企画三課	目標値	—	—	2,761人	3,071人	3,381人	124.8%		市民の関心度が高い事業（取組）を紹介する動画を市公式YouTubeに多数掲載したことにより目標値を達成できる見込みである。	より多くの市民にチャンネル登録してもらえよう、今後も市の施策等を紹介するNCN（Neyagawa City News）を中心に多くの動画を市公式YouTubeや市ホームページ等に掲載する。
実績値	713人	2,800人	3,622人	3,832人								
★ 市ホームページ総アクセス数	企画三課	目標値	—	—	12,449,000件	13,849,000件	15,249,000件	90.0%	●	近年の大幅なアクセス数の増加は新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の影響によるものであり、今年度は感染者の全数把握見直しにより発信数が減少したことからアクセス数も減少した。また、通常のイベントや事業等が再開しつつあるものの、寝屋川まつりや寝屋川ハーフマラソン等の大きなイベントが中止になったことに加え、イベント等への参加を控える人も多くいるものと考えられ、アクセス数は目標値には至らない見込みであるが、コロナ禍前の実績から見ると着実に増加している。	引き続き、市民にわかりやすく市が魅力的に見えるホームページの作成に努めるとともに、市公式アプリやSNS等とのメディアミックスを進めることで、目標値の達成を目指す。	
実績値	9,648,707件	16,908,055件	19,124,205件	12,468,500件								

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	ニーズ把握等の推進	企画二課	【実施内容】 新住民アンケート 【実施回数】3回 【モニター人数】20人 ・タウンミーティングの開催（新型コロナウイルス感染症の影響により未実施） ・SNSを活用した調査（新型コロナウイルス感染症の影響により未実施） ・テーマ別アンケート調査（新型コロナウイルス感染症の影響により未実施）	・転入モニターアンケート 【実施回数】3回 【モニター人数】20人 ・転出モニターアンケート 【実施回数】1回 【モニター人数】23人 ・子育て世代対象タウンミーティング 【実施回数】3回 【参加者】27人 ・地域別タウンミーティング 【実施回数】6回 【参加者】334人 ・SNSを活用した調査（実施について調整中） ・テーマ別アンケート調査（実施について調整中）	継続	社会情勢の変化等により、複雑・多様化する市民の声について、様々な機会、媒体を通じ、機を逸することなく適切に把握することで、時代に応じた新たな施策・事業への展開、市民サービスの向上につなげる。
	ガイドブック（市勢要覧）の制作 〔令和3年度に完了〕	企画三課	【実施内容】 先進的な子育て・教育施策を始めとする訴求力のある施策を掲載し、市の優位性をPRするガイドブック『寝屋川移住計画』の発行 【ガイドブック配架先】 住宅展示場、商業施設、駅 など	—	完了	—
	ねやがわPR大使の活用	企画三課	【実施内容】 ・市ホームページへ市制施行70周年お祝いメッセージを掲載 ・令和3年8月に開館した中央図書館にねやがわPR大使著書コーナー、選書コーナーを設置 ・令和3年10月に発行した市ガイドブックへ寄稿記事を掲載 ・成人式においてビデオレターメッセージを上映 【事業への協力回数】4回	【実施内容】 成人式においてビデオレターメッセージを上映 【事業への協力回数】1回	継続	引き続き、ねやがわPR大使を積極的に活用し、工夫を凝らした活動を通じて、本市の魅力の発信につなげる。 また、他のPR大使候補者の選出及び交渉を進めていく。
	シティプロモーションの推進	企画三課	【実施内容】 ・デザイン力向上研修の実施 ・北河内広報連絡協議会への出席 ・対外的訴求力のある施策等の報道提供・SNS等を活用した情報発信 【報道提供回数】98回	【実施内容】 ・デザイン力向上研修の実施 ・北河内広報連絡協議会への出席 ・対外的訴求力のある施策等の報道提供・SNS等を活用した情報発信 【報道提供回数】65回	継続	引き続き、担当課との情報共有による迅速かつ効果的な報道提供及び情報発信を行う。
	映像による情報発信	企画三課	【実施内容】 ・新型コロナウイルス感染症対策関連動画の配信 ・市の施策を紹介するNCN（Neyagawa City News）の配信 など 【掲載動画数】22本 【掲載動画総視聴回数】46,595回	【実施内容】 ・市イベント関連動画の配信 ・市の施策を紹介するNCN（Neyagawa City News）の配信 など 【掲載動画数】26本 【掲載動画総視聴回数】18,000回	継続	引き続きNCNを中心に多くの動画を掲載し、市の知名度向上及びイメージアップを図る。
	多言語デジタルブック閲覧サービスの導入・運用	企画三課	【実施内容】 ・これまでのホームページでの3言語（英・中・韓）翻訳から、9言語に対応 ・広報誌、市の刊行物を掲載 【掲載回数】広報誌（12回）、その他（9回）	【実施内容】広報誌、市の刊行物を掲載 【掲載回数】広報誌（12回）、その他（1回）	継続	引き続き、広報誌や市の刊行物等を掲載し、市内在住の外国人が市政情報等を入手できる環境整備を図る。
	市ホームページのリニューアル〔令和3年度に完了〕	企画三課	市のPRを効果的に行うことができるよう、市ホームページトップページのイメージを一新したデザインを全面リニューアルページを公開した。誰もが必要な情報を簡単に探せるよう、情報の整理を行うとともに、検索性を高めるため、レコメンド機能などを導入した。	—	完了	—

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング事業 【総合戦略事業】	市公式アプリの運用	企画三課	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせの配信 ・各種予約・通報の受付 など <p>【新機能追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりプログラム掲載 ・まちの美化通報・レポートマップ 	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせの配信 ・各種予約・通報の受付 など <p>【新機能追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設、河川水路の危険箇所通報・レポートマップ ・すこやかサポートブック ・ワガヤネヤガワマップ ・トップ画面「各種予約」を「予約・申請など」に変更 ・住民票等のオンライン申請 ・電子申請システム 	継続	引き続き行政情報等を簡単に入手できるツールとして情報発信等を行うとともに、機能追加等について検討し、利便性の向上を図る。

目標値の達成に至らない指標のうち、新型コロナウイルスの影響によるものは、「コロナ影響」欄に「●」を付けています。

施策分類	3	くらしの質を高める施策										
施策	19	未来へつなぐ行財政運営										
施策の方向性	市民ファーストの意識を高めた質の高い行政サービスを提供するため、限られた予算、人員等を有効に活用し、簡素で効率的な行政システムの構築と財政基盤の確立、強化を図り、持続可能な行財政運営を推進します。											
施策の展開	① 次代につなぐ財政運営 ② 寝屋川市の働き方改革の推進 ③ “スマート・ねやがわ”の実現 ④ 実効性・効率性を追求した行政運営											
関連するSDGs目標	   											
指標名	担当課		指標の推移					達成率[R4]		分析（要因や寄与した取組の内容など）	今後の対応・対策	
			R1 【基準値】	R2 【実績】	R3 【実績】	R4 【実績見込】	R5	コロナ 影響				
★ 施策指標 【数値目標】	経常収支比率	財政課	目標値	—	—	92.5%	92.5%	93.3%	100.0%	●	新型コロナウイルスの感染拡大、社会情勢の不安定によるエネルギー単価上昇の影響を受けた光熱費の増加や扶助費を中心とした経常的経費が増加したことに加え、普通交付税の減少により経常一般財源が減少したため、経常収支比率は昨年度実績より増加する見込みであるが、目標値は達成できる見込みである。	引き続き、経常経費の抑制や税源の涵養をも意識した財源確保の取組を進め、経常収支比率の改善に努める。
			実績値	91.3%	87.4%	86.8%	92.5%					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	現年度分の市税徴収率	徴収・納付 担当	目標値	—	—	99.00%	99.10%	99.20%	100.0%	●	クレジット・LINE Pay 収納等の市民周知を図るとともに、現年度分に対してSMSを利用した催告・滞納処分を積極的に取り組むことにより、徴収率が向上し、目標値を達成できる見込みである。	市民サービス及び利便性の向上を目的としたキャッシュレス決済を拡充することで、納税環境の充実を図り、引き続き効果的な催告の実施等により、徴収率の向上につなげ、目標値達成の継続を図る。
			実績値	98.85%	98.26%	99.09%	99.10%					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	★ ふるさと納税に係る寄附件数	企画四課	目標値	—	—	2,000件	3,000件	4,500件	85.6%	●	返礼品の拡充やポータルサイトの追加等により、寄附件数は前年度より増加しているが、目標値には至らない見込みである。但し、1件当たりの平均寄附単価が増加しているため、寄附金額は大幅に増加している。	引き続き、返礼品拡充に資する取組等を推進するとともに、ポータルサイトの拡充、ウェブマーケティング等の実施により、目標値の達成を目指す。
			実績値	862件	1,288件	1,819件	2,569件					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合	財政課	目標値	—	—	27.5%	28.4%	28.9%	88.0%	●	新型コロナウイルス感染症対策経費の財源等で約24億円の取崩しを予定していることから、残高割合の低下が想定され、目標値には至らない見込みである。 ※ 3月補正後の予算に基づく数字であり、充当事業の執行状況によっては取崩し額が少なくなることがある。	健全化判断比率の一つである実質赤字比率（実質赤字の標準財政規模に対する比率）の財政再生基準が20%に設定されていることを考慮し、財政調整基金残高対標準財政規模の比率を20%以上維持する。
			実績値	21.6%	28.8%	27.9%	25.0%					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	時間外勤務の削減率 ※一般職員の時間外勤務（大規模災害への対応及び特に緊急を要する業務のための時間外勤務や希望残業制度による時間外勤務を除く。）の年間削減率	人事室	目標値	—	—	40%	70%	100%	100.0%	●	市民サービス・働き方改革推進会議を通じて、時間外勤務削減の進捗管理、週単位の総勤務時間管理の徹底及び職員勤務管理システムによる状況把握により情報共有を図るなど、目標値達成に向けて取組を進めている。	総業務量を考慮した業務の断捨離、デジタル技術を活用した業務の省力化、業務の標準化等を通じた業務量の平準化を不断に推進することにより、目標の達成に取り組む。
			実績値	—	15.9%	27.2%	70.0% (取組中)					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 行政手続のオンライン化率	DX推進室	目標値	—	—	26.0%	62.8%	85.0%	82.2%	●	市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画に基づき段階的に取組を進めているが、オンライン化にあたり、本人確認の方法や添付書類の省略等、手続のフローの見直しが必要なため、目標値には至らない見込みであるものの、着実にオンライン化を進めている。	令和5年度は更なるオンライン化の推進を図るため、「情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の制定を踏まえ、今後更に、本人確認の方法や添付書類の省略等、手続に係るフローの見直し（BPR）を進めるなど、目標値の達成に向けた取組を進める。
			実績値	—	—	27.1%	51.6%					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	★ 包括連携協定に基づく連携事業の年間実施数	企画二課	目標値	40	—	71事業	76事業	81事業	76.3%	●	各種連携事業については、コロナ禍ではあるものの、オンラインなど、やり方を工夫して実施できたものもあるが、その多くが縮小、中止になったことから、目標値には至らない見込みである。時代の要請に応じた新たな手法を模索するなど、継続した公民連携を進めていくことが重要である。	公民連携を積極的に推進していくため、連携の在り方の検討、手法の見直しを行うなどして、様々な機会を通じ各種連携事業の実施を促進する。
			実績値	66事業	67事業	61事業	58事業					
★ 進捗管理 指標 【★：KPI】	第六次総合計画の施策指標（各年度における目標値）の達成率	企画一課	目標値	—	—	100%	100%	100%	46.2%	●	多くの施策において、新型コロナウイルスの影響により予定する取組が実施できなかったことなどから、目標値達成には至らない見込みであるが、8割程度（82.1%）の指標が80%を超える達成率となる見込みであり、着実に進捗が図られている。	令和5年度は前期実施計画の最終年度であること、またコロナ禍からの社会活動の再開を見据え、より効果的な成果を得られるよう不断に新規事業立案及び既存事業の見直しを図るなど、PDCAサイクルを適切に回すことで、目標値の達成を目指す。
			実績値	—	—	51.4%	46.2%					

	事業名	担当課	取組実績【令和3年度】	取組実績【令和4年度見込み】	進捗を踏まえた今後の方向性	
					区分	説明
リーディング 事業 【総合戦略 事業】	ふるさと納税の促進	企画四課	【実施内容】 ・利用可能なポータルサイト（楽天ふるさと納税）の追加 【ふるさと納税件数及び金額】 1,819件 31,385,000円	【実施内容】 ・返礼品の増加に資する取組の推進 ・利用可能なポータルサイト（ふるなび）の追加 ・ポータルサイトに係る検索エンジンの最適化、サムネイル画像加工等の実施 【ふるさと納税件数及び金額】 2,923件 85,156,000円	拡充	ポータルサイトの追加、ウェブマーケティング等による寄附喚起・誘導、返礼品拡充に資する取組等により、更なるふるさと納税の促進を図る。
	行政手続のオンライン化の推進	DX推進室	【実施内容】 ・行政手続申請（電子申請）システムの拡充 ・行政手続申請（電子申請）システムの拡充に伴う職員向け説明会等の実施 【行政手続の手続数のオンライン化率】 27.1% 【行政手続の手続件数のオンライン化率】 36.3%	【実施内容】 ・行政手続申請（電子申請）システムの機能拡充（マイナンバーカードによる本人確認及びキャッシュレス決済機能を活用した住民票の写し等各種証明書交付申請のオンライン化を開始） ・行政手続申請（電子申請）システムの機能拡充に伴う職員向け説明会等の実施 【行政手続の手続数のオンライン化率】 51.6% 【行政手続の手続件数のオンライン化率】 37.4%	拡充	利用者の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済機能（PayPay決済）を拡充するとともに、引き続き、市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画に基づき、行政手続のオンライン化の推進に向けた取組を進める。
	A I ・ R P A 等の活用	DX推進室	【実施内容】 ・RPA・AI-OCRの導入 9事務 ・簡易システム作成ツールの導入 1業務	【実施内容】 ・RPA・AI-OCRの導入 10事務 ・簡易システム作成ツールの導入 3事務	拡充	引き続き、大幅な削減時間が見込まれる定型的かつ大量の処理を行う業務を中心にAI-OCR及びRPAを導入し、更なる事務の効率化を図る。
	学校法人等との連携	企画二課	【実施内容】 市との連携取組をより一層促進するため、包括連携協定を締結した団体等と連携会議を開催 【開催回数】 1回 【参加団体数】 13団体	【実施内容】 市との連携取組をより一層促進するため、包括連携協定を締結した団体等と連携会議を開催(予定) 【開催回数】 1回 【参加団体数】 15団体	継続	引き続き、包括連携協定を締結している大学法人や民間企業との連携を推進することで、地域の活性化、地域課題の解決、市民サービスの向上などを図る。